

別 添 第 1 号

令和元年度 事業報告書

ふれあいネットワーク

社会福祉
法人

大分県社会福祉協議会

目次

概 要	・ ・ ・ ・ ・	1
-----	-----------	---

各部所事業報告

総務・企画情報部	・ ・ ・ ・ ・	3
----------	-----------	---

地域福祉部	・ ・ ・ ・ ・	8
-------	-----------	---

市民活動支援部	・ ・ ・ ・ ・	27
---------	-----------	----

福祉資金部	・ ・ ・ ・ ・	42
-------	-----------	----

施設団体支援部	・ ・ ・ ・ ・	47
---------	-----------	----

身体障害者福祉センター	・ ・ ・ ・ ・	56
-------------	-----------	----

社会福祉介護研修センター	・ ・ ・ ・ ・	73
--------------	-----------	----

福祉サービス運営適正化委員会	・ ・ ・ ・ ・	96
----------------	-----------	----

令和元年度事業報告（概要）

県社協では、第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018」がめざす「誰もが安心して暮らせる地域社会」を実現するため、構成組織である社会福祉協議会、社会福祉法人・福祉施設、民生委員児童委員協議会、関係福祉団体との連携・協力のもとに、重点課題への対応をはじめとする各事業の推進に取り組んだ。

また、本年度策定した「経営基盤強化・発展計画2019」の着実な推進により、内部統制機能の強化、人材の確保・育成及び情報発信の強化等を通して法人の経営基盤の一層の強化を図り、時代のニーズや変化に機敏に対応できる組織の構築に取り組んだ。

なお、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業実施にあたり感染予防対策を講じると共に、一部事業は中止や延期せざるを得なかった。

1 地域福祉推進の強化

住民主体による地域福祉活動の推進を図るとともに、福祉サービス利用者の権利擁護や県民への良質な福祉サービスを提供するための支援強化を図り、さらに地域に密着した福祉活動の一層の強化を図るため、社会福祉協議会の基盤強化に関する研究協議を重ね、地域共生社会の実現に向けた各事業に取り組んだ。

2 生活支援事業の取り組み

福祉人材の確保並びに自立支援を目的とした貸付事業に取り組むとともに、生活福祉資金貸付制度の充実強化を図り、生活困窮者への支援を行った。併せて日常生活自立支援事業の充実を図るとともに、社協における法人後見の実施に向けた取り組み支援を行った。

また、社会福祉法人の社会貢献事業の取り組み支援を行った。

3 ボランティア活動の推進

災害時に備えた日頃からのボランティアネットワークづくりと災害ボランティアセンターの人材育成の取り組みを行うとともに、ボランティアとNPO、企業等との一層の連携強化を図った。

4 フードバンク活動及び子ども食堂事業の推進

平成28年に設立した「フードバンクおおいた」は、取扱量の増加への対応として専用の食品庫を整備し、寄せられた食品を子ども食堂や児童福祉施設、生活困窮者支援窓口やくらしサポート事業実施施設に提供し、食料支援を図った。

5 指定管理施設の充実

大分県社会福祉介護研修センター及び大分県身体障害者福祉センターでは、各種事業の充実を図るとともに、福祉人材の育成及び利用者へのサービスの一層の向上に努めた。

6 「経営基盤強化・発展計画2019」の推進

第二次経営基盤強化・発展計画（令和元年～令和4年）を策定し、会長常務理事及び部所長で構成する「経営企画会議」を設置し、取組項目ごとに担当部所を定め計画の着実な推進に取り組んだ。

7 大規模災害への対応

九州社会福祉協議会連合会の幹事県として、九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、被災した県社協からの要請を受けて支援業務の調整を行った。

また、生活福祉資金特例貸付のための体制整備を図り、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により失業または減収となった世帯への支援を行った。

総務・企画情報部

適切な法人運営を行うため、理事会等各種会議を開催したほか、労務管理を適切に行うとともに、新たな人材育成基本方針のもと人事管理の強化に努めた。

1 県社協組織の運営

(1) 役員会等の開催

会 議 名	期 日	主 な 議 題
監事監査	5月17日	・平成30年度事業実施状況、決算状況
決議の省略による 第244回理事会	5月29日	・評議員選任・解任委員の選任 ・評議員の選任
第245回理事会	6月 5日	・職務執行状況報告 ・平成30年度事業報告 ・平成30年度決算 ・定款の変更 他
第168回評議員会	6月27日	・平成30年度事業報告 ・平成30年度決算 ・役員、会計監査人の選任 他
第246回理事会	6月27日	・会長、副会長及び常務理事の選任 ・会計監査人の報酬 他 (追加提案) ・決議の省略による第169回評議員会
決議の省略による 第169回評議員会	7月13日	・定款の変更
第247回理事会	1月28日	・職務執行状況報告 ・定款の変更 ・業務執行理事の選定について 他
第170回評議員会	2月 4日	・定款の変更 ・理事及び監事の選任 他
第248回理事会	3月18日	・令和元年度収支補正予算 ・令和2年度事業計画 ・令和2年度収支予算 ・副会長の選定 他
決議の省略による 第171回評議員会	3月30日	・令和元年度収支補正予算 ・令和2年度事業計画 ・令和2年度収支予算 他

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

期 日 令和元年6月4日(火)
場 所 城崎司法ビル 2階会議室
出席者 委員4名
議 案 評議員の選任について

(3) 会計監査人による監査の実施

第1回

期 日 令和元年9月19日(木)～20日(金)
場 所 大分県総合者会福祉会館及び大分県社会福祉介護研修センター

第2回

期 日 令和元年12月2日(月)～3日(火)
場 所 大分県総合者会福祉会館

第3回

期 日 令和2年3月23日(月)～24日(火)
場 所 大分県総合者会福祉会館

(4) 市町村社協との連絡調整及び各種会議の開催・参加

① 市町村社会福祉協議会常務理事・事務局長会議

期 日 平成31年4月23日(火)
場 所 大分県総合社会福祉会館 大ホール
出席者 21名
内 容 ・ 県行政説明
・ 平成31年度県社協重点事業、事業計画

② 市町村社会福祉協議会総務部課長・職員研究協議会

期 日 令和元年11月22日(金)
場 所 大分県社会福祉介護研修センター 302研修室
出席者 22名
内 容 ・ 講義「社会福祉協議会における働き方改革への対応について」
・ 議題協議

③ 全国社会福祉協議会・九州社会福祉協議会連合会関係会議等

会 議 名	期 日	場 所
全国社会福祉協議会理事会	6月21日	全社協
	11月28日	全社協
	3月 4日	全社協
全国社会福祉協議会政策委員会総会	6月21日	全社協
全国社会福祉協議会政策委員会幹事会	8月26日	全社協
	10月18日	全社協

	1 2 月 2 0 日	全社協
	2 月 2 1 日	全社協
全国社会福祉団体職員退職手当積立金 常任委員会	7 月 2 2 日	全社協
都道府県社協常務理事・事務局長セミナー	8 月 1 日、2 日	ロフオス湘南
全社協常務理事・事務局長会議	1 月 3 1 日	全社協
九社連理事会	2 月 1 2 日	佐賀県
九社連総務部課長・職員研究会議	1 0 月 3 1 日	長崎県
九社連事務局長会議（前期）	9 月 1 1 日	福岡県
〃（後期）	2 月 1 2 日	佐賀県

（５）新たな人材育成基本方針の策定

地域福祉の推進、特に地域の支えあい「共助」が求められている中、県民の役に立つ人材を戦略的に創出、育成し、意識改革を行い、組織風土を変革し、新たな地域コミュニティの創造に役立つ人材育成基本方針を策定した。

（６）職員の資質向上等への取り組み

- | | | |
|------------------------------|---------------|-------|
| ① 社会福祉施設等新任職員研修会 | 前期（４月１８日～１９日） | 7 名 |
| | 後期（４月２４日～２５日） | 6 名 |
| ② 社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講入門コース | | 1 名 |
| ③ 社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座初級 | | 1 名 |
| ④ 社会福祉協議会・社会福祉施設職員会計実務講座中級 | | 1 名 |
| ⑤ メンター制度学習会 | | 1 5 名 |
| ⑥ 職場内人権研修（２月２７日・２月２８日） | | 7 3 名 |

（７）職員採用試験の実施

本会職員の採用試験を実施し、４６名の応募があり、このうち最終審査で３名を内定した。

（８）社会福祉関係従事者等の顕彰

１０月２５日、別府市ビーコンプラザで開催した「第１４回大分県地域福祉推進大会」の席上において、１００名・１６団体の表彰を行った。

① 県社協会長表彰

- | | | |
|----------------|-------|------|
| ・民生委員児童委員特別功労者 | 1 5 名 | |
| ・社会福祉事業関係功労者 | 5 5 名 | |
| ・自立更生者 | 1 名 | |
| ・ボランティア功労者・団体 | 9 名・ | 4 団体 |
| ・善意銀行寄付者・団体 | | 3 団体 |

② 県社協会長感謝状

- | | | |
|----------------|------|-----|
| ・ ボランティア功労者・団体 | 16名・ | 4団体 |
| ・ 善意銀行寄付者・団体 | 2名・ | 5団体 |
| ・ 事業協力者 | 2名 | |

(9) 指定管理施設の管理・運営

社会福祉介護研修センター及び身体障害者福祉センターの指定管理者として、両施設の効率的な管理・運営に努めた。

(10) 九州社会福祉協議会連合会の運営

本年度から2年間、本会が九州社会福祉協議会連合会の会長県として事務局を担うこととなり、九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づき、被災した県社協からの要請を受けて支援業務の調整を行った。

- ① 9月の佐賀県豪雨災害による災害ボランティアセンター運営支援にかかる職員の派遣調整の実施
- ② 10月の東日本豪雨災害による特例貸付にかかる職員の派遣調整の実施

(11) 「経営基盤強化・発展計画2019」の策定及び推進

第二次経営基盤強化・発展計画（令和元年～令和4年）を策定し、会長常務理事及び部所長で構成する「経営企画会議」を設置し、取組項目ごとに担当部所を定め計画の着実な推進に取り組んだ。

- ① 経営企画会議の設置（7月から毎月1回開催）
- ② 監事監査規程の制定
- ③ 内部管理体制に関する基本方針の策定
- ④ 会計監査人の設置
- ⑤ 初任給調整手当の創設
- ⑥ 障がい者の雇用（11月11日から1名雇用）
- ⑦ 人材育成基本方針の策定
- ⑧ 勤怠管理システムの導入
- ⑨ 年5日の年次有給休暇の完全取得
- ⑩ メンター制度導入の学習会を開催

2 善意銀行の運営

指定預託金27件、一般預託金3件、合計30件の預託があった。このうち一般預託金の配分については、善意銀行配分委員会で、各福祉団体から申請のあった各種事業等に対する助成を行った。

3 総合社会福祉会館の運営

(1) 施設の利用状況

福祉関係団体をはじめ広く一般に、研修、会議、大会等の会場としての利用促進を図った。

(大分県総合社会福祉センター)

区 分	福 祉 関 係		一 般		計	
	件数	利用人数	件数	利用人数	件数	利用人数
大ホール	118 (137)	8,719 (8,358)	40 (53)	4,470 (7,727)	158 (190)	13,189 (16,085)
中研修室	62 (60)	1,941 (2,418)	38 (52)	1,577 (2,550)	100 (112)	3,518 (4,968)
小研修室	170 (203)	2,283 (2,657)	38 (56)	915 (1,119)	208 (280)	2,491 (3,776)
合 計	350 (400)	12,943 (13,433)	116 (161)	6,962 (11,396)	466 (561)	19,905 (24,829)

※ () は平成30年度の実績

4 民間社会福祉施設従事職員の福利厚生

(1) 民間社会福祉施設職員退職共済事業の実績

	平成30年度	令和元年度
加入者数	9,365人	9,832人
給付人数	1,036人	1,099人
給付金額	700,247,074円	830,074,068円

(2) 民間社会福祉施設互助共励事業の実績

	平成30年度		令和元年度	
給付金種類	人数 (人)	金額 (円)	人数 (人)	金額 (円)
弔慰金	8	390,000	8	340,000
傷病手当金	8	120,000	11	120,000
結婚祝金	190	2,820,000	217	3,255,000
出産祝金	269	3,705,000	277	4,155,000
入学祝金	230	4,620,000	287	5,740,000
脱退一時金	113	11,652,964	123	13,589,863
災害見舞金	4	110,000	0	0
合 計	822	23,417,969	923	27,199,863

地域福祉部（地域福祉部・あんしんサポートセンター）

地域福祉部

地域共生社会の醸成に伴い、地域に密着した福祉活動の一層の強化を図るため、社会福祉協議会の基盤強化に関する研究協議や役職員の資質向上のための研修会及び地域住民や関係団体等を対象とした各種事業を実施した。

また、生活困窮者自立支援制度に係る就労支援事業の円滑な運営を目的に、県内の多様な機関・団体で課題解決に向けた協議や情報共有による連携強化を行った。

さらに、支援が必要な子どもたちの課題を早期に発見し、早期支援に繋げることを目的の一つとした子どもの居場所づくりを推進するため、各市町村における子ども食堂等の設置を積極的に支援するとともに、運営者に対する支援を行った。

1 市町村社会福祉協議会の運営や活動強化に向けた支援

社協が取り組む地域福祉の推進と社協基盤の確立強化を図るため、当面する課題への解決策を明らかにすべく、調査研究や検討会等を開催した。

- (1) 本委員会の開催
- | | |
|-----|---------------------------------|
| 第1回 | 7月19日(金) |
| 第2回 | 3月 新型コロナウイルスの影響により
書面審議に代え実施 |

(2) 部会の開催

- | | |
|--------------------|---|
| ① 法人経営・制度政策研究部会 | 8月 6日(火) |
| ② 地域・在宅福祉推進事業等研究部会 | 7月23日(火) |
| ③ 地域防災研究部会 | 第1回 4月26日(金)
第2回 6月19日(水)
第3回 12月13日(金) |

(3) 企画・作業部会等の開催

- ① 我が事・丸ごと地域共生社会の推進に向けた研究企画部会
- | | |
|-----|--|
| 第1回 | 5月31日(金) |
| 第2回 | 10月 4日(金) |
| 第3回 | 3月 新型コロナウイルスの影響により
意見等報告シートによる書面に代え実施 |
- ② 玖珠郡広域型権利擁護センター設置に係る作業部会
- | | |
|-----|-----------|
| 第1回 | 11月29日(金) |
| 第2回 | 12月25日(水) |
| 第3回 | 2月28日(金) |

(4) 役職員の資質向上を目的とした会議・研修会の開催

会議・研修名	期 日	会場	内 容	参加者
市町村社協新任職員研修会	5月17日 (金)	県総合社会福祉会館	1) 講義Ⅰ「社協職員としての心構えと接遇」 2) 講義Ⅱ「社会福祉協議会の使命、活動に必要な視点」	50名

会議・研修名	期 日	会場	内 容	参加者
市町村社協課 長・係長研修会	8月29日 (木)	県社会福祉 介護研修セ ンター	1) 講義・演習「“やりたいこと”を実現するために～社 協経営の視点と予算獲得の手法～」大分県福祉保 健部保護・監査指導室	22名
第1回 我が事・丸ごと地 域共生社会推進 会議	11月 5日 (火)	県社会福祉 介護研修セ ンター	1) 概要説明「大分県における地域共生社会推進の方 向性について」 大分県社会福祉協議会 2) 講 義「地域共生社会の推進に向けた連携・協働 の必要性について」 大分大学 3) 実践報告「住民主体の地域共生社会推進と行政部 署間での連携」 竹田市社会福祉協議会	67名
第2回 我が事・丸ごと地 域共生社会推進 会議	2月21日 (金)	県総合社会 福祉会館	1) 行政説明「地域共生社会の実現に向けて」 厚労省 九州厚生局 地域包括ケア推進課課長 2) 実践発表(14市町) 3) 総括 ※人材養成研修の第4クールを兼ねる	101名
我が事・丸ごと地 域共生社会推進 人材養成研修会	7月31日 (水)	県総合社会 福祉会館	第1クール 1) 講義「地域共生社会に向けた取組と動向」 厚生労 働省 2) 講義「地域共生社会の実現に向けた取組」 大分県 福祉保健企画課 3) 講義・ワーク「地域共生社会の構築に向け、具体的 な役割と方策を考える」	81名
	8月22日 (木)	県総合社会 福祉会館	第2クール (相談支援包括化コース①) 1) 講義「相談支援包括化支援員に求められるもの」 大分県社会福祉協議会 2) 講義「相談支援に関わる各制度・施策」大分県福祉 保健企画課、大分県高齢者福祉課 地域包括ケア推 進班、大分県私学振興・青少年課、大分県こころとから だの相談支援センター、大分県中津児童相談所長	33名
	8月27日 (火)	県社会福祉 介護研修セ ンター	第2クール (地域力強化コース①) 講義「地域力強化推進員に求められるもの」大分県社 会福祉協議会 講義・ワーク「地域づくりの実践について」全国コミュニティー ライフサポートセンター	42名
	9月12日 (木)	県総合社会 福祉会館	第2クール (相談支援包括化コース②) 講義「相談支援包括化の必要性の理解と体験」 同志社大学 報告「相談支援包括化への取組」 中津市社会福祉協 議会 講義・ワーク「自分のまちの包括的相談支援体制の構 築」	42名
	9月13日 (金)	県総合社会 福祉会館	第2クール (地域力強化コース②) 講義・ワーク「地域福祉の動向・地域づくりの手法」 関西学院大学	53名

	11月～ 1月		第3クール (ブロック別研修、各会場共通) 講義「地域共生社会の概要」県社協、ワークⅠ・Ⅱ、全体発表「わがまちの地域共生社会像と今後の取り組みについて」地域共生推進企画部員	
	11月 7日 (木)	県総合社会 福祉会館	① 大分会場 対象 大分市・由布市	21名
	11月11日 (月)	豊後大野市 役所	② 豊後大野会場 対象 竹田市・豊後大野市	40名
	11月27日 (水)	県東部振興 局	③ 国東会場 対象 豊後高田市・国東市	14名
	12月10日 (火)	別府市社会 福祉会館	④ 別府会場 対象 別府市・杵築市・日出町	17名
	12月19日 (木)	中津市教育 福祉センター	⑤ 中津会場 対象 中津市・日田市・玖珠町	22名
	1月23日 (木)	津久見市民 会館	⑥ 津久見会場 対象 津久見市・臼杵市・佐伯市	24名
令和元年度避難 所運営訓練研修	2月 9日 (日)	別府市緑丘 小学校	避難訓練へ参加による、社協としての避難所支援のあり方の検証	12名
市町村社協 常務理事・事務 局長研究協議会	2月17日 (月) ～18日 (火)	ホテルサン バリーアネ ックス	1) 社会福祉協議会における働き方改革への対応 ななせ総合事務所 社会保険労務士 高橋 誠 氏 2) タイムマネジメント(時間管理)の有効性 エジュテメントパートナーズ 代表 秋満 直人 氏 3) 研究協議(分散会) 事前提出課題の意見交換等	28名
我が事・丸ごと地 域共生社会推進 人材養成研修	2月21日 (金)	県総合社会 福祉会館	第4クール (第2回我が丸推進会議を兼ねる) 1) 行政説明「地域共生社会の実現に向けて」 厚労省 九州厚生局 地域包括ケア推進課 課長 山内 強 氏 2) 実践発表(14市町) 3) 総括 山内 強 氏(再掲)	101名

(5) 市町村社協研修支援事業の実施

市町村社会福祉協議会職員等の資質向上並びに組織力の強化を図るため、市町村社協が希望する研修内容に対応し、講師及び職員の派遣を行った。

実施回数 10回

日 時	会 場	内 容	参加者
4月18日(木)	臼杵市社協	成年後見制度について	10名
5月15日(水)	宇佐市さんさん館	災害研修と災害時の民生委員児童委員の役割	150名
6月14日(金)	別府湾ロイヤルホテル	社協の求められる役割・社協理事の役割	10名

		と県内の動向	
7月10日(水)	メルサンホール 健康増進室	社協とは	50名
8月3日(土)	日田市総合保健福祉センター 1階相談室	子ども食堂立ち上げ研修会	20名
10月19日(土)	別府市社会福祉会館	市民後見人養成講座	35名
11月19日(火)	豊後大野市社協	社協組織人としてのあり方	40名
11月26日(火)	日出町保健福祉センター	成年後見制度の概要と法人後見業務(身上監護や財産管理等)	10名
2月20日(木)	豊後大野市役所 正庁ホール	子ども食堂支援とフードバンク活動について	90名
3月26日(木)	竹田市社協 会議室	日常生活自立支援事業での支援の流れ・報告書の書き方等	14名

(6) 社協職員連絡協議会の運営支援

社協職員の資質向上と情報交換を目的に組織された「大分県市町村社協職員連絡協議会」の運営支援を行った。

① 総会の開催

期 日 令和元年7月2日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館 2階視聴覚室

② 代表者会議の開催

期 日 令和元年10月30日(水)

場 所 大分県総合社会福祉会館 2階生活訓練室洋室

③ 研修会の開催

期 日 令和2年2月7日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館 3階母子会議室

内 容 地域福祉活動等に携わる職員の実践活動報告・投票

(7) 市町村社協事業・行事への支援

市町村社協主催の社会福祉大会等への出席

杵築市、臼杵市、由布市、別府市

(8) 善意銀行を通じた社協への物品等の配分

寄 贈 者	品 目	配 分 先 社 協
日産プリンス大分販売株式会社・労組	介護ベッド	中津市、日田市、臼杵市、竹田市、国東市
一般社団法人生命保険協会大分県協会	福祉車両	別府市、豊後大野市
大分教区仏教婦人会連盟	車いす	大分市、臼杵市、国東市

(9) 情報提供

全社協などの中央情報・資料等を随時メール配信した。

2 住民や福祉関係者等による地域福祉活動の推進支援

誰もが安心して心豊かに生活できる地域社会を創出するため、住民が地域で互いに支えあい・助けあう小地域ネットワークを普及推進し、地域の福祉力を高めるための事業及び活動を行った。

(1) 大分県地域福祉推進大会の開催

地域福祉の全県的な推進を啓発する大会として「第14回大分県地域福祉推進大会」を開催するとともに、県社協会長表彰・感謝状の授与を行った。

① 大会実行委員会

期 日 令和元年8月5日(月)

会 場 大分県総合社会福祉会館

② 第14回大分県地域福祉推進大会

期 日 令和元年10月25日(金)

会 場 別府ビーコンプラザ

内 容 表彰式典、基調講演、意見発表

参加者 約2,000名

(2) 買い物弱者への支援に向けた取り組み

移動販売など買い物弱者支援を通じて、地域の多様な団体等が連携し、高齢者等の買い物環境の改善を図るとともに、見守りやサロン等地域のコミュニティ活動を強化することなど、地域振興・生きがいを創出することを目的に実施した。

① 買い物弱者支援による地域活性化連絡会の開催

本連絡会は、買い物弱者支援ならびに、地域住民への声かけや情報収集、官民連携をもって見守りや災害時の支援、地域振興等包括的な地域支援につなげ、地域福祉の増進に資することを目的とし、下記の構成で協議体を組織している。

関係機関(3機関)	生活協同組合コープおおいた、株式会社ローソン、株式会社Aコープ九州
行政・社協	※協議案件に応じ、当該地域の行政・社協職員が参画
事務局	大分県社会福祉協議会 地域福祉部

ア 第11回買い物弱者支援による地域活性化連絡会

(※第1～10回は平成28年度から実施し回数を引き継いでいるもの)

実施日 令和元年6月28日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館1階ミーティングルーム

出席者 12名

内 容 1) 移動販売 進捗状況・課題等について
2) 今後の展開について
3) 情報共有

イ 第12回買い物弱者支援による地域活性化連絡会

実施日 令和元年9月24日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館1F ボランティア・市民活動ルーム

出席者 7名

内 容 1) 「とくし丸」の販売地域について
2) 情報共有

ウ 第13回買い物弱者支援による地域活性化連絡会

実施日 令和元年10月31日（金）

場 所 大分県総合社会福祉会館1F ボランティア・市民活動ルーム

出席者 7名

内 容 1) 杵築市での「とくし丸」事業の取り組みについて（情報共有）
2) 今後の取り組みについて

② 情報収集・情報提供

移動販売の先進的な取り組みについて市町村社協へ情報提供し、関係者への周知を図った。

（３）生活困窮者自立支援制度への対応・支援

県内における自立相談支援事業担当者等が互いの理解と連携を深め、本事業利用者に係る自立促進の視点から、課題や情報の共有を図り円滑な相談事業の実施と本事業を通じた地域福祉の増進に資することを目的に開催した。

① 自立相談支援事業等担当者連絡協議会の運営

令和元年度第1回連絡協議会（新任職員研修）

実施日 令和元年5月24日（金）

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 16名

内 容 講義、事業説明、演習（グループワーク）

② 大分県生活困窮者就労支援協議会の開催

期 日 令和2年3月5日（木）⇒開催中止に伴い書面審議

内 容 令和元年度の取組報告及び次年度の取組方針（案）について

③ 制度周知・広報啓発に関する取り組み

広報啓発用チラシ「働きたいを応援しませんか？」により適宜周知を行った。

④ 就労訓練・就労体験 受入先拡大に係る取り組み

ア 大分県中小企業家同友会への協力依頼

期 日 平成31年4月15日（月）

内 容 平成31年度の取り組みと今後の連携について

イ 生活困窮者就労支援に係るモデル的取り組みに関する意見交換会

期 日 平成31年4月24日（水）

内 容 中津市モデルの報告と意見交換

ウ 大分県中小企業家同友会中津支部2月定例会への協力

期 日 令和2年2月12日（水）

内 容 中津市で受け入れ実績のある4社、相談担当等のグループ討議

エ 企業等への訪問

期 日 令和2年2月14日（金）

内 容 会員である農業法人に対し、協力依頼を行った。

（４）大分県社会福祉士会との合同セミナーの開催

期 日 令和元年11月23日（土・祝）

会 場 J：COM ホルトホール大分 3階大会議室

内 容 基調講演、特別講演、活動報告

参加者 183名

(5) 権利擁護・地域定着支援セミナーの開催

期 日 令和元年12月7日(土)
会 場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール
内 容 講義1、講義2、特別講演
参加者 103名

(6) 福祉関係者・行政職員のための権利擁護セミナーの開催

期 日 令和2年3月16日(月)⇒新型コロナウイルスの影響により開催延期
会 場 玖珠町メルサンホール
内 容 ・成年後見制度について
・上伊那成年後見支援センターにおける権利擁護の取り組み

4 子ども食堂等地域の居場所づくりの推進・普及に向けた取り組み

ブロック別の子ども支援に関するネットワークを立ち上げるにあたり、各地域の関係機関及び団体等と意見交換や情報共有を行うため実施した。今後、さらに多くの団体を含めた、県全体の子ども食堂ネットワークの立ち上げを進めていくこととしている。

(1) ネットワークづくりに向けた取り組み

① 「おおいた子ども食堂ネットワーク」設立式

目 的 令和元年5月1日に設立した「おおいた子ども食堂ネットワーク」の
設立式を行った。

実施日 令和元年6月21日(金)

場 所 大分県社会福祉介護研修センター 3階小ホール

参加者 70名 県内の子ども食堂運営者及び支援者、民生委員・児童委員(主任児童委員)、PTA連合会、自治会長会、ボランティア連絡協議会、母子寡婦福祉会、社会福祉協議会、教育委員会(SSW)、行政担当課等

内 容 県社協会長あいさつ、祝辞、企画推進部会委員紹介、記念撮影

② おおいた子ども食堂ネットワーク第1回企画推進部会

実施日 令和元年6月21日(金)

場 所 大分県社会福祉介護研修センター3階301研修室

参加者 16名

③ おおいた子ども食堂ネットワーク第2回企画推進部会

実施日 令和2年2月13日(木)

場 所 大分県総合社会福祉会館 2階洋室

参加者 14名

④ おおいた子ども食堂ネットワーク令和元年度ブロック別連絡会

実施日 下記日程のとおり

対象者 県内の子ども食堂運営者及び支援者、民生委員・児童委員(主任児童委員)、PTA連合会、自治会長会、ボランティア連絡協議会、母子寡婦福祉会、社会福祉協議会、教育委員会(SSW)、行政担当課等

内 容 話題提供「みんなの居場所、地域でのつながり」

講師 NPO法人地域ひとネット代表理事 谷川真奈美 氏
グループトーク「わたしのマチのお役立ち情報」、全体まとめ

日 程	会 場	対象地域	参加者
8月28日(水)	佐伯市社会福祉協議会	佐伯市、津久見市	12名
9月2日(月)	杵築市健康福祉センター	杵築市、国東市、姫島村	22名
9月3日(火)	別府市役所	別府市、日出町	20名
9月6日(金)	豊後大野市役所	竹田市、豊後大野市	18名
9月10日(火)	四日市公民館	中津市、豊後高田市、宇佐市	15名
9月11日(水)	九重町保健福祉センター	日田市、九重町、玖珠町	22名
10月4日(金)	大分県総合社会福祉会館	大分市、臼杵市、由布市	36名

※ 県内の子ども食堂数 62か所（令和2年3月31日現在）

⑤ 思い出サンタプロジェクトへの協力

期 間 令和元年12月7日（土）～25日（水）

場 所 祝祭の広場（大分市府内町）

内 容 子ども食堂の参加者やスタッフに、サンタへの願い事やメッセージを
札に書いてもらい、その札を県立芸術文化短期大学地域総合連携研究
室が企画したお菓子の家に展示。

⑥ 映画「こども食堂にて」無料上映会（大分市、別府市、佐伯市）

対象者 子ども食堂運営・支援者、社会福祉協議会、教育委員会、市町村等

内 容 映画「こども食堂にて」上映、フリートーク

日 程	会 場	参加人数
7月9日(火)	別府市水道局 3階大会議室	12名
7月10日(水)	大分県総合社会福祉会館 2階視聴覚室	36名(※2回上映)
7月11日(木)	佐伯市社会福祉センター2階第2会議室	19名

（２）研修・セミナー等の開催

子ども食堂の運営者や支援者を対象に、食の安全に対する知識を深めるとともに
頻発する自然災害時の栄養管理について学ぶことを目的に開催した。

① 第1回子ども食堂運営・支援者研修会

実施日 令和元年6月21日（金）

会 場 大分県社会福祉介護研修センター 3階小ホール、2階調理室

参加者 65名

内 容 講義「食品衛生」、実演「災害時の栄養管理」

② 第2回子ども食堂運営・支援者研修会※ボランティアリーダー研修会との共催

実施日 令和元年10月18日（金）

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 26名

内 容 講義「子ども食堂の役割～おなかも心も満たす安心できる場所～」
講義「人が集まる『たのしく笑って健康に！』笑いトークの意義

③ 令和元年度子育て環境セミナー

すべての子どもたちが希望を持って成長していくことができる地域社会の実現を

目指し、地域全体で児童や子育て・児童のいる家庭ともっと主体的に関わり、子どもの健全育成や地域での居場所づくりを推進する取り組みをとおして「地域ぐるみの子育て支援の輪」を広げることを目的に開催した。

実施日 令和元年9月25日（水）

会 場 別府ビーコンプラザ フィルハーモニアホール

参加者 529名：民生委員・児童委員、主任児童委員、行政、教育委員会、市町村社協、その他関係機関・団体、ボランティア・NPO法人、子育てに関心のある方、等

内 容 1) 講演「誰もが住みやすい地域・社会とは？『ごちゃまぜ食堂』の役割」一般社団法人共生社会実現サポート機構とんとんとん代表理事 山内勇人氏

2) 活動事例発表①「三世代交流」NPO法人碧い海の会事務局長 甲斐賢二氏、②「地域と学校の連携によって復活し始めた家庭・地域の教育力」佐伯市鶴谷中学校区教育コーディネーター 久寿米木重生氏

④ 子ども(地域)の居場所づくり説明

各種研修会や説明会にて「子どもの居場所づくり」について説明した。

◇実施日 令和元年5月15日（水）

会 名 第1回スクールソーシャルワーカー連絡協議会

場 所 コンパルホール（大分市）

対象者 30名

◇実施日 令和元年5月20日（月）

会 名 ボランティア連絡協議会

場 所 大分県総合社会福祉会館（大分市）

対象者 90名

◇実施日 令和元年5月27日（月）

会 名 大分大学ボランティア説明会

場 所 大分大学（大分市）

対象者 40名

◇実施日 令和元年6月3日（月）

会 名 大分市スクールソーシャルワーカー連絡会

場 所 （大分市）

対象者 30名

◇実施日 令和元年6月12日（水）

会 名 女性の地域協働活動・地婦連リーダー研修会

場 所 ビーコンプラザ（別府市）

対象者 80名

◇実施日 令和元年7月2日（火）

会 名 大分芸術文化短期大学ボランティア説明会

場 所 大分芸術文化短期大学（大分市）

対象者 100名

◇実施日 令和元年7月4日（木）

会 名 大分県子ども子育て県民会議

- 場 所 アイネス（大分市）
 対象者 40名
 ◇実施日 令和元年10月10日（木）
 会 名 単位民児協会長研修会
 場 所 H&R別府湾（日出町）
 対象者 180名
 ◇実施日 令和元年10月16日（水）
 会 名 子どもの居場所づくり説明会
 場 所 大分県立芸術文化短期大学（大分市）
 対象者 18名
 ◇実施日 令和元年10月24日（木）
 会 名 第25回大分県生協大会
 場 所 ソレイユ（大分市）
 対象者 80名
 ◇実施日 令和元年12月2・3日（月・火）
 会 名 新任民生委員研修会
 場 所 各地
 対象者 934名
 ◇実施日 令和2年2月5日（水）
 会 名 第59回大分県地域婦人団体連合会中央大会・女性の地域協働活動支援事業実践活動報告会
 場 所 ビーコンプラザ（別府市）
 対象者 300名
 ◇実施日 令和2年2月14日（金）
 会 名 杵築市子ども食堂振り返り会
 場 所 杵築市社会福祉協議会（杵築市）
 対象者 20名
 ◇実施日 令和2年2月20日（木）
 会 名 豊肥地区社福連絡協研修会
 場 所 豊後大野市役所
 対象者 80名
- ⑤ 卒業研究研修会
 実施日 令和元年8月7日（水）
 場 所 大分県総合社会福祉会館 1階ミーティングルーム
 内 容 講義「子どもの居場所づくり」「フードバンクおおいた」について
 2か所の子ども食堂と見学マッチング6月8日、24日に見学実施
- ⑥ 市町村社協職員等研修支援事業（再掲）
 実施日 令和元年8月3日（土）
 場 所 日田市総合保健福祉センター 1階相談室
 内 容 講義「子ども食堂立上げ研修会」

（３）子どもの居場所（食堂）の普及・啓発

子ども食堂への見学希望者と食堂運営者等とのマッチング、子ども食堂の立ち上げ

相談支援や継続相談支援、寄付希望者からの相談や視察対応等を行った。

- ① 県内子ども食堂訪問 大分市 9 件、別府市 4 件、杵築市 1 件
- ② 子ども食堂立上げ相談支援、見学マッチング、運営者等相談対応
新規立ち上げ相談 大分市 5 か所、別府市 2 か所、臼杵市 1 か所、
杵築市 2 か所、宇佐市 1 か所、玖珠町 2 か所
新規立ち上げ同行訪問 3 か所
食堂見学希望者への食堂紹介 9 か所
- ③ 寄付等相談対応
子ども食堂へ寄付の申出対応 11 件
- ④ 助成金等情報提供
各種助成金の情報 17 件
- ⑤ 子ども食堂視察対応
実施日 令和 2 年 1 月 20 日（月）
団 体 静岡県磐田市議会議員 6 名
内 容 大分県内子ども食堂について、おおいた子ども食堂ネットワークにつ
いて意見交換、すみれ学級 1 組（敷戸教室）視察

（４）子ども食堂・おおいた子ども食堂ネットワークの広報並びに情報提供

- ① 社会福祉法人による社会貢献レポートへの寄稿（令和 2 年 1 月発行）420 部
- ② リーフレット・チラシ等の配布
- ③ メルマガ（毎月 1 回）・ホームページ及び Facebook を随時更新した。
- ④ 取材対応：TOS「ほっとはーとおおいた」、OBS ラジオ、大分合同新聞、
NHK 大分放送

5 地域の共食を推進する事業の実施

子ども食堂の課題の一つである生鮮食品の安定的な提供を実現することに加え、農産物の直売所で出た規格外品や在庫品を有効活用し、食品ロスを削減するため、県内の子ども食堂と農家・直売所等を結びつけるネットワークを作った。あわせて、食材のマッチングをとおして、子ども食堂でバランスのとれた食事の提供ができるようにするとともに、収穫や調理をとおして、子ども食堂利用者が共食のたのしさや自ら調理する力を育成し、食物への感謝の気持ちを育むために体験教室を実施した。

（１）青果の提供体制の構築

農家や直売所等とのマッチングに活用するため、子ども食堂運営者に事前アンケートを実施し、農家や直売所等と子ども食堂の連携に向けた連絡会等を開催した。

- ① 第 1 回事業説明会
実施日 令和元年 8 月 26 日（月）
場 所 大分県総合社会福祉会館 3 階中研修室
内 容 事業概要説明および意見交換
- ② 第 2 回事業説明会
実施日 令和元年 10 月 15 日（火）
場 所 大分市公設地方卸売市場
内 容 1) 青果会社と食堂とのマッチングについて

2) キック・オフ会について

③子ども食堂応援キック・オフ会

青果会社及び大分市青果仲卸協同組合による青果の支援を開始

実施日 令和元年10月23日(水)

場 所 大分市公設地方卸売市場

内 容 挨拶、野菜贈呈、看板設置、今後の流れについて

④青果を提供する農家や直売所等との連絡体制構築

キック・オフを皮切りに県と協働し、他の市町でも青果の提供先がないか交渉し、説明のための訪問等を行い、新たに別府市と日出町、由布市の子ども食堂あてに青果の提供を受ける仕組みを作った。

ア 農家や直売所等と子ども食堂のマッチングが成立した時は、定期的に青果の受取り実績(種類及び量等)を把握

イ 子ども食堂運営者に事後アンケートを実施し、事業の効果を検証

(2) 調理体験及び農業体験の実施

子ども食堂利用者に対し調理体験や農業体験等の食育を実施。また、事前・事後にその効果等についてアンケートを実施した。

令和元年度 農業体験及び料理講座 開催一覧

	日程		対象子ども食堂	体験内容		会場 名称・所在地	参加 人数
	月日	曜		体験・料理	詳 細		
1	2/1	土	別保子ども食堂	農業体験	大根などの収穫	大分農業文化公園・杵築市山香町	38 名
2				料理講座	だんご汁	大分農業文化公園・杵築市山香町	38 名
3	2/8	土	鶴崎子ども食堂	農業体験	菌床椎茸の収穫	株式会社ハートコープおおいた・大分市青崎	19 名
4				料理講座	椎茸バーガー・白玉だんご他	オアシスホーム1・大分市東鶴崎	19 名
5	2/22	土	金池こどもみんなのひろば	料理講座	お好み焼き・すまし汁・おむすび	九州電力(株)大分営業所クッキングスタジオ・大分市金池町	27 名
6	3/8	日 コロナの影響で中止	おおいた子ども食堂ネットワーク会員食堂	農業体験	春の野草摘み	碧い海の会いこいの広場・大分市竹中	—
7				料理講座	野草料理	碧い海の会いこいの広場・大分市竹中	—
8	3/18	水	すみれ学級2組大津教室	料理講座	パンケーキ	すみれ学級2組大津教室・大分市大津町	15 名
9	3/21	土	ふれんど子ども広場	農業体験	春の野草摘み	碧い海の会いこいの広場・大分市竹中	12 名
10				料理講座	野草料理	碧い海の会いこいの広場・大分市竹中	12 名

11	3/25	水	すみれ学級 3 組小池原教室	料理講座	パンケーキ	すみれ学級 3 組小池原教室・大分市小池原	15 名
12	3/27	金	すみれ学級 1 組敷戸教室	料理講座	パンケーキ	すみれ学級 1 組敷戸教室・大分市敷戸西町	13 名
13	3/28 コロナ	土	金池こどもみんなのひろば	農業体験	乳搾り・哺乳	たばた牧場・杵築市山香町	—
14	の影響 で中止			料理講座	バターアイス作り	たばた牧場・杵築市山香町	—
						延べ人数	208 名

(3) 報告会の実施

調理体験の講師、農業体験を受け入れた農家及び子ども食堂関係者を参集し、報告会を開催した。

実施日 令和 2 年 3 月 2 4 日 (火)

場 所 大分県総合社会福祉会館 4 階大ホール

内 容 各団体からの青果マッチング状況や収穫・料理体験報告、意見交換

6 大分県民生委員児童委員協議会の運営や活動強化に向けた支援

地域社会における住民同士の支え合いや安全・安心の確保が求められるなか、孤立し深刻な課題を抱えている高齢者世帯・子育て家庭等を発見し、行政や専門機関へつなぎ、その他福祉サービスの利用や支援につなぐ役割を担う民生委員・児童委員に対し、県民児協事務局として各種事業支援を行った。

また、1 2 月 1 日に行われた、民生委員・児童委員一斉改選に向けた諸準備や各種引継ぎへの支援及び新任民生委員に向けた研修の強化を図った。

(1) 各種会議、委員会の開催

- ① 正・副会長会議の開催 (計 5 回)
- ② 理事会の開催 (計 4 回)
- ③ 各専門委員会の開催
 - ア 総務委員会 (計 2 回) (正副会長会議と同時開催)
 - イ 児童福祉推進委員会並びに主任児童委員連絡会合同会議 (計 1 回)
 - ウ 児童福祉推進委員会 (計 1 回)
 - エ 広報紙編集委員会 (計 9 回)

(2) 県内研修会等の企画・実施並びに講師派遣

- ① 単位民生委員児童委員協議会会長研修会 (参加者162名)
- ② 子育て環境セミナー (参加者529名：再掲)
- ③ 中堅民生委員児童委員研修会 (参加者84名)
- ④ 主任児童委員研修会 (参加者206名)
- ⑤ 民生委員・児童委員ブロック別研修会 (県内6ブロック、参加者1, 538名)
- ⑥ 大分県地域福祉推進大会 (再掲)
- ⑦ 新任民生委員・児童委員研修会への講師派遣 (県内7ブロック)

（３）市町村社協事業との連携

- ① 生活困窮者自立支援制度等、各種相談援助事業への協力
- ② 子どもの居場所づくり推進事業への協力
- ③ 成年後見利用促進事業への協力
- ④ 生活福祉資金等貸付事業への協力、長期滞納世帯などの状況把握への協力
- ⑤ 法律巡回相談の実施

実施か所：10か所、相談者数：57人（相談件数：59件）

（４）市町村民児協組織の整備と活性化支援

- ① 指定民生委員児童委員協議会育成事業の実施（2単位民児協×63,000円）
 - ア 臼杵市市浜地区民生委員児童委員協議会
 - イ 津久見市下浦地区民生委員児童委員協議会
- ② 「民生委員・児童委員の日」活動強化週間にあわせ、各種PR資材の供給を行うとともに、市町村民児協間の情報共有により活動の活性化をはかった。
- ③ 児童委員活動強化推進方策助成事業の実施
 - 子育てサロンや子ども食堂への助成（3か所×2万円）
- ④ 一斉改選に伴う諸準備、各種引継ぎへの支援

（５）全国及び九州ブロック会議・研修会等への参加

- ① 全民児連評議員会（東京都）
- ② 全民児連評議員セミナー（東京都）
- ③ 全国民生委員互助共励事業運営委員会（東京都）
- ④ 全国民生委員互助共励事業公務審査委員会（東京都）
- ⑤ 都道府県・指定都市民児協事務局会議（東京都）
- ⑥ 全国主任児童委員研修会（西日本ブロック）（滋賀県）
- ⑦ 民生委員・児童委員リーダー研修会（神奈川県）
- ⑧ 全国児童委員研究協議会（千葉県）
- ⑨ 全国民生委員児童委員指導者研修会（神奈川県）
- ⑩ 九州ブロック民生委員児童委員関係事業会議（熊本県）

（６）互助事業等の実施

- ① 慶弔事業の実施
- ② 退任記念品料給付事業の実施（一斉改選含む）
- ③ 傷病見舞金給付事業の実施
- ④ 全国互助事業給付の実施（一斉改選含む）
- ⑤ 民生委員・児童委員活動保険への一括加入

（７）各種表彰の実施並びに、受賞記念品料給付事業の実施

- ① 全国民生委員児童委員連合会会長表彰
- ② 九州社会福祉協議会連合会会長表彰
- ③ 厚生労働大臣表彰
- ④ 全国社会福祉協議会会長表彰

- ⑤ 大分県社会福祉協議会会長表彰
- ⑥ 大分県民生委員児童委員協議会会長感謝状
- ⑦ 叙勲

(8) 広報活動及び情報提供等

- ① 広報紙「大分県民児協だより『愛』」の発行（年3回）
- ② PR用チラシ・ポケットティッシュの作成、配布
- ③ 各種資料の提供・配布
 - ・児童委員活動の手引き45集
 - ・人権課題への理解を深めるために2019
 - ・民生委員・児童委員による相談支援活動のヒント集第4集（障がい児・者への支援）
 - ・災害に備える民生委員・児童委員活動ハンドブック（改訂版）
 - ・単位民児協運営の手引き
 - ・訪問活動・相談活動の基本
～民生委員・児童委員のための相談技法研修用ビデオ～
 - ・事例を通して支えあう～仲間と学ぶ事例学習～冊子、ビデオ

7 関係団体との連携、支援

(1) 情報提供等

- ① 県社協主催のセミナーや研修会についての情報提供
- ② 市町村社協職員学習会との連携による支援
- ③ メーリングによる介護保険事業等の制度情報の提供

(2) NPO、小規模福祉団体への支援

県内で活動するNPO団体や小規模福祉団体への情報提供や活動等に対しての相談に応じた。

(3) フードバンク、大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会等との連携

生活困窮者等に対する相談支援の活性化を図るため、フードバンクおおいた及びおおいたくらしサポート事業との連携した活動を進めた。

(4) 県共同募金会との連携

募金活動及び配分についての意見を提示した。

(5) 九州ブロック社会福祉協議会並びに大分県市町村社協災害時応援協定等に基づく災害への支援

令和元年8月九州北部豪雨災害に伴う支援活動のため、被災地市町村社協等災害ボランティアセンターの運営支援に係る応援職員を派遣した。

佐賀県内災害ボランティアセンター（佐賀県社協、武雄市、大町町、多久市）

期 日 令和元年8月30日(金)～10月12日(土)

人 数 延べ24名（県内8県市町村社協）

(参考) 令和元年九州北部豪雨派遣まとめ（全体）

	派遣先市町	派遣クール	派遣 最終日	派遣延べ 人数	ボランティア 受付件数累計	ニーズ受付 件数総計	マッチング 件数(完了)
No.1	武雄市	第10クールまで	～10月12日	320名	5,608名	1,151件	712件
No.2	大町町	第8クールまで	～10月3日	250名	2,679名	333件	539件
No.3	多久市	第4クールまで	～9月21日	68名	1,114名	129件	70件
No.4	小城市	第2クールまで	～9月14日	20名	481名	110件	41件
No.5	佐賀市	第2クールまで	～9月14日	20名	635名	152件	79件
				678名	10,517名	1,875件	1,441件

あんしんサポートセンター

日常生活自立支援事業を推進し、福祉サービス利用者の権利擁護に努めた。

1 日常生活自立支援事業の推進

(1) 相談受付件数及び契約・解約の状況

① 相談受付の状況（平成31年4月～令和2年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	288件

② 契約締結の状況（平成31年4月～令和2年3月末）

契 約	締 結 ①	解 約 ②	合 計 ①－②
	229件	148件	81件

【累計】

① 相談受付の状況（平成11年10月～令和2年3月末）

	初回相談件数
相談の受付	6,551件

② 契約締結の状況（平成11年10月～令和2年3月末）

契 約	締 結 ①	解 約 ②	現在締結件数 ③ (①－②)
	3,016件	2,156件	860件

(2) 大分県契約締結審査会の開催

当審査会は、およそ3か月に1回を基本に開催し、生活支援員による調査の結果や利用者の判断能力に疑義が生じた案件等について諮った。

開 催 日	審査件数
平成31年 4月24日	0件
令和元年 8月21日	1件
令和元年 11月28日	0件
令和2年 2月27日	0件
合 計	1件

※審査案件なし。経過報告の実施

※審査案件なしのため中止

※審査案件なしのため中止

(3) 関係機関との連携

関係機関連絡会議を開催し、当事業に関する意見交換等を行った。

日常生活自立支援事業関係機関連絡会議

期 日 令和2年3月3日（火） 13：30～

会 場 大分県総合社会福祉会館 2階生活訓練室洋室

内 容 1) 権利擁護・成年後見関係事業について

2) 日常生活自立支援事業の実施状況について

3) その他 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

(4) 会議・研修会の開催

各種研修活動等を通じ、県社協職員及び市町村社協職員の資質向上に努めた。

また、事業実施体制の充実を図るため事業担当職員連絡協議会を開催し、事業実施について協議を行った。

① 第1回日常生活自立支援事業担当職員研究協議会

期 日 令和2年3月24日（火）

会 場 大分県総合社会福祉会館 3階中研修室

参加者 11名

内 容 1) 令和元年度の事業報告

2) 令和2年度の事業計画

3) 意見交換

② 生活支援員等事業関係職員研修会の開催

期 日 令和2年3月13日（金）

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

内 容 講義・演習「精神障がい者に対する理解と支援について」

講師 大分県精神保健福祉士協会会長 松本憲治 氏

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

(5) 各種会議・研修会等への出席

【県内】

① 家事関係機関との連絡協議会

② 大分市社協やすらぎ生活支援事業委員会

③ 別府市成年後見制度体制整備に係る検討会（2回）

④ 佐伯市成年後見制度体制整備に係る検討会

⑤ 豊後大野市・竹田市における成年後見制度体制整備に係る検討会

⑥ 大分県成年後見制度推進連絡会議（中止）

【県外】

① 全国日常生活自立支援事業担当部・課・所長会議

② 専門員実践力強化研修会Ⅰ（2日間）

③ 成年後見制度利用促進体制整備研修基礎研修（3日間）

④ 成年後見制度利用促進体制整備研修応用研修（3日間）

⑤ 成年後見制度利用促進体制整備研修都道府県担当者研修

(6) 権利擁護事業の普及・啓発

① パンフレットの配布

各市町村社協、県・市町村行政、社会福祉施設、金融機関、医療機関、民生委員、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等関係機関にパンフレットを配付し、事業の周知を図った。

② 各種研修会等での事業説明

市町村社協、県・市町村、地域包括支援センター、介護支援専門員等関係者の参集する各種会議・研修会の場において、本事業の説明を行った。

開催日等	会議・研修名称	会場	参加人数
6月6日	日常生活自立支援事業事業 新任担当職員研修会	県総合社会福祉会館	18名
8月4日	豊後大野市市民後見人養成講座	豊後大野市役所	20名
9月19日	別府市市民後見人養成講座	別府市福祉会館	35名
10月1日	国東市市民後見人養成講座	国東市役所	15名
10月30日	親なきあと研修会	県総合社会福祉会館	40名
12月1日	大分市市民後見人養成講座	母子寡婦福祉センター	18名
3月26日	竹田市生活支援員養成講座	竹田市総合社会福祉センター	16名

(7) 業務システムに関する対応

契約件数が増加していることへの事務負担軽減として、平成27年11月末に県内全ての市町村社協に業務システムを導入し、県社協と市町村社協を業務システムで結ぶネットワークを構築した。しかし老朽化が進んでいるため、本年度、業務システムの移設に伴う再契約を行うための対応を行った。

2 権利擁護・成年後見推進事業の推進

(1) 権利擁護・地域生活定着支援セミナー

高齢や障がいのために福祉的支援を必要とする矯正施設退所者について、福祉サービスの利用を通じての社会復帰の支援が進められる中で、矯正施設に入ってから支援ではなく、根本として罪を犯さないようにするため、発達障がい者や福祉的支援を必要とする者等と共存するためにどうあるべきかなど、地域社会との関わりや支援のあり方について考えることを目的に開催した。

日 時 令和元年12月7日(土)

会 場 大分県総合社会福祉会館 4階大ホール

参加者 103名

内 容 「高齢者による事件の背景から考える」

- ・刑事施設における高齢者に対する改善指導について

講師 大分刑務所分類教育部 統括矯正処遇官 長 義治 氏

- ・刑余者と向き合って ～あなたの目には何が映っていますか～

講師 社会福祉法人同心会業務 執行理事 宇都宮浩二 氏

- ・高齢者万引きの背景

講師 万引き対策専門家 伊東ゆう 氏

3 広域型権利擁護センターの設置促進に向けた取り組み

今後、成年後見を必要とする対象者が増加することが見込まれるなか、玖珠町、九重町における権利擁護体制の構築に向けた協議を行った。

(1) 玖珠郡広域型権利擁護センター第1回設置検討会

開催日 令和元年7月8日(月)

場 所 九重町役場101会議室

参加者 玖珠町、九重町、玖珠町社協、九重町社協、県、県社協 計15名

内 容 ①玖珠郡における広域型権利擁護センターの展開について
②意見交換

(2) 玖珠郡広域型権利擁護センター第2回設置検討会

開催日 令和元年9月19日(木) 10:00~11:30

場 所 九重町役場101会議室

参加者 玖珠町、九重町、玖珠町社協、九重町社協、県、県社協 計15名

内 容 ①ニーズ調査の実施について
②今後の流れ(スケジュール案等)について

(3) 玖珠郡広域型権利擁護センター設置検討に係る作業部会

① 第1回作業部会

開催日 令和元年11月29日(金) 13:30~15:00

場 所 九重町役場101会議室

参加者 玖珠町、九重町、玖珠町社協、九重町社協、県社協 計5名

内 容 ・ニーズ調査について(調査対象者、調査票、調査内容等)
・セミナーの開催について

② 第2回作業部会

開催日 令和元年12月25日(水) 14:00~16:00

場 所 九重町役場101会議室

参加者 玖珠町、九重町、玖珠町社協、九重町社協、県社協 計5名

内 容 ・ニーズ調査について
・調査の実施、集計について
・権利擁護セミナーについて

③ 第3回作業部会

期 日 令和2年2月28日(金) 13:30~15:00

会 場 九重町役場101会議室

参加者 玖珠町、九重町、玖珠町社協、九重町社協、大分県社協 計7名

内 容 ・ニーズ調査結果について
・権利擁護セミナーについて

大分県ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動の推進を図るため、ボランティアリーダーやコーディネーター等の人材育成を図ったほか、各種ボランティア研修を行うとともにボランティアや市民活動に関する情報提供を行った。

福祉教育においては、福祉ボランティア体験学習等を通じてボランティア活動の活性化を図るとともに、中高年者・高齢者の生きがい健康づくりの啓発を行った。

平成28年6月に立ち上げた「フードバンクおおいた」は周知活動を積極的に行った結果、認知度が上がってきたことと、元年度からは県からの災害備蓄食料大口寄贈もあり、18.23トンの食品を寄贈いただき、子ども食堂や食に困っている方々に提供した。

8月末に発生した「令和元年8月の前線に伴う大雨」については、佐賀県の武雄市、多久市、大町町に県社協職員を派遣し、その後の（九州）ブロック派遣につなげた。

なお、年度末の2月・3月は、パンデミックとなった新型コロナウイルスの感染防止のため、災害ボランティアリーダー研修、災害ボランティアネットワーク連絡協議会を始め、ボランティア連絡協議会理事会やボランティアセンター運営委員会等が中止（一部書面での報告等）となった。

I ボランティア市民活動センター

1 ボランティア・市民活動の推進

（1）ボランティア等の人材育成

市町村社会福祉協議会と連携を図り、地域のボランティア・NPO活動を推進するため、各研修会・講座等を開催した。

① ボランティアコーディネーター基礎研修

大分県内の福祉施設や社会福祉協議会等で、ボランティアの受入などコーディネーター担当者の資質の向上を図ることを目的に研修を行った。

開催日 令和元年6月18日（火）

場 所 大分県母子父子福祉センター研修室

参加者 46名

内 容 講義「みんながしあわせになれるボランティアコーディネーション力について」

講師 特定非営利活動法人 ふくおかNPOセンター

代表 古賀 桃子 氏

② 福祉ボランティアリーダー養成講座

ボランティア団体の設立・運営・活動活性化方法等専門的な知識を習得した福祉ボランティアリーダーを養成し、中核的なボランティア団体の増加を図ることを目的に、5日間の日程で開催した。

【第1日】

日時：令和元年8月8日（木） 10：00～15：00
場所：大分県総合社会福祉会館 3階中会議室 参加者22人
演題：「地域社会の抱える問題と団体活動について」
「市民活動団体らしい活動資金の集め方」
講師：日本NPOセンター事務局 次長 上田 英司 氏

【第2日】

日時：令和元年8月24日（土） 10：00～15：00
場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール 参加者28人
講義1：「災害時における要配慮者支援の基礎知識」
講師：NPO法人自立支援センターおおいた 五反田 法行 氏
講義2：「地域におけるコミュニティー再生の必要性について」
講師：土佐町社会福祉協議会 事務局長 山首 尚子 氏

【第3日】

日時：令和元年10月18日（金） 10：00～15：00
場所：大分県総合社会福祉会館 4階大ホール 参加者29人
講義：「子ども食堂の役割～おなかも心も満たす、安心できる場所～」
講師：日向子ども研究所 絆 所長 三輪 邦彦 氏
講義・実技：「笑いを使った心と脳を元気にするレクレーショントーク術」
講師：心と脳の元気を届けるオフィスじゃんけんぽん代表 都知木 睦 氏

【第4日】

日時：令和元年10月29日（火） 13：00～14：30
場所：竹田津くらしのサポートセンターかもめ（国東市）参加者26人
講義：「活力ある竹田津地区の暮らしを目指して」
講師：竹田津くらしのサポートセンターかもめ 会長 坂口 弘道 氏

【第5日】

日時：令和元年11月23日（土・祝） 10：30～16：00
場所：ホルトホール3階大会議室 参加者32人
演題：①「これからの地域福祉の方向性」
②地域の絆で無縁を包む～ひとりぼっちをつくらない地域づくり～」
講師：①大分大学福祉健康科学部 講師 川村 岳人 氏
②大阪府豊中市社会福祉協議会福祉推進室長 勝部 麗子 氏
活動報告 a 中津市総合ケアセンター いずみの園
b 高齢者総合福祉施設 緑の園
c 由布市社会福祉協議会
コメンテーター：大分大学福祉健康科学部 講師 川村岳人 氏
※大分県社会福祉士会、県社協地域福祉部と共催の「合同セミナー」

③ 福祉ボランティア専門研修

県内で活動している地域福祉活動団体に対し、より高い専門性を持った人材を育成することを目的に研修企画を公募し、目的に沿った団体に研修を委託した。

審査会 令和元年6月21日（金）

委託先 5団体（1団体への研修委託金上限300千円）

（申請団体：8団体）

団 体 名	研 修 内 容	委託費
あんしん研究会	認知症の予防とケアの専門性学習	300 千円
臼津あけぼの会	ひきこもりの方の家族支援のためのサロン	235 千円
大分県知的障がい者 陸上競技協会	知的障がい者陸上競技コーチ養成研修	295 千円
特定非営利活動法人 共に生きる	発達障害当事者・家族支援養成研修	205 千円
特定非営利活動法人 碧い海の会	生きがいサロンサポーター養成事業	299 千円

（２）市町村ボランティア・市民活動の支援

①市町村社協ボランティア担当者会議

市町村社協ボランティア担当及び地域福祉担当と合同で事業等に関する事業説明及び意見交換を行った。

(ア)第1回 令和元年4月16日（火）

場 所 大分県総合社会福祉会館3階 研修室

参加者 ボランティア・地域担当者 26名

内 容 a 令和元年度ボランティアセンター関係事業について
b 令和元年度夏のボランティア体験月間について

(イ)第2回 令和元年12月19日（木）

場 所 大分県総合社会福祉会館 3階 研修室

参加者 ボランティア担当者 15名

内 容 a 令和元年度ボランティアセンター関係事業の進捗
b 令和元年度夏のボランティア体験月間のふりかえり 等

②市町村ボランティア・市民活動推進のための「出前講座」の開催

いろいろなボランティアジャンルに対応するボランティア養成や団体や組織としての運営のあり方など、活動上の悩みをどのように解決するかに応え、活動を促進するための出前講座を開催した。

期 日 令和2年2月11日（火）

場 所 日田市社会福祉協議会

主 体 日田市ボランティア連絡協議会

講 師 日本文理大学 高見大介助教

内 容 「ボランティア論」

(3) ボランティア・市民活動団体の育成

大分県ボランティア連絡協議会への支援

① 総会及び研修会の開催

開催日 令和元年5月20日(月)

場 所 大分県総合社会福祉会館 4階 大ホール

参加者 市町村ボランティア連絡協議会会員及び社協職員 76名

内 容 総 会 ①平成30年度事業報告・決算について(監査報告)

②令和元年度事業計画・予算(案)について

研修会 演題「住民共助による避難所運営」

講師：熊本県西原村議会 議員 堀田直孝氏

② 理事会の開催

第1回 令和元年 5月20日(月)

第2回 令和元年11月28日(木)

第3回 令和2年 3月17日(火)

【新型コロナウイルス感染防止のため中止】

③ ブロック別研修会の開催

(ア) 県北ブロック 開催日 令和元年10月10日(木)

場 所 豊後高田市

(イ) 別杵東速ブロック 開催日 令和元年11月29日(金)

場 所 別府市

(ウ) 大分ブロック 開催日 令和元年11月18日(月)

場 所 大分市

(エ) 県南ブロック 開催日 令和元年11月13日(水)

場 所 佐伯市

(オ) 豊肥ブロック 開催日 令和元年12月5日(木)

場 所 豊後大野市

(カ) 日田玖珠ブロック 開催日 令和元年12月18日(水)

場 所 玖珠町

④ 県外研修

期 日 令和元年12月14日(土)～15日(日)→中止

場 所 東京都

参加者

内 容 ボランティア全国フォーラム2019への参加

※台風、豪雨災害多発のため本年度は中止

⑤ 市町村ボランティア連絡協議会合同研修会

期 日 令和元年11月28日(木)～11月29日(金)

場 所 ホテル別府パストラル(別府市)

参加者 72名

内 容

(ア) 講義①「地域を支える『ボランティア』の底力そして可能性」

(イ) グループディスカッション「誰かの笑顔のために、仲間の幸せのために」～ボラ連のこれからを真剣に考える～

講師：長崎県長与町社会福祉協議会事務局次長 久部 直人 氏

(ウ) 情報交換会

(エ) 講義②「災害発生！その時どうなる？」

講師：大分大学減災復興デザイン教育センター

防災コーディネーター 板井 幸則 氏

(4) 大分県ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

① 第1回 令和元年11月1日（金）

場 所 母子父子センター研修室

内 容 (ア) 令和元年度事業の進捗状況（中間報告）について

(イ) 災害ボランティアセンター運営事業「現地研修」について
（佐賀県武雄市、多久市、大町町）

② 第2回 令和2年3月6日（金）

【新型コロナウイルス感染防止のため中止】

場 所 総合社会福祉会館 3階研修室

内 容 (ア) 令和元年度事業の進捗状況（実績報告）について

(イ) 令和2年度事業計画（案）について

2 ボランティア・市民活動の啓発促進

(1) 第16回大分県ボランティア・NPO推進大会の開催

期 日 令和元年10月17日（木）

場 所 トキハ会館（ローズ）

参加者 205名

内 容

基調講演「人がつながり、動きだす場づくり」

講師：特定非営利活動法人 ハンズオン埼玉

理事 西川 正 氏

活動報告

① 「お節介なオバチャンたちだからできたこと」

どっぽちゃん食堂 代表 戸山 恵子 氏

② 「ボランティアって楽しい」

県立大分南高等学校 桑本、菊池、秦野 氏

③ 「ふくしまっ子応援プロジェクト9活動報告」

県立芸術文化短期大学 甲斐、梶谷 氏

④ 「高齢者の活躍できる居場所づくりについて」

シニアクラブ 三色すみれ 田口 鈴江 氏

(2) ボランティア・市民活動センター機能の充実

コーディネート等による情報発信。

- ① ボランティアコーディネート
- ② ボランティア・NPOからの相談受付
- (3) ボランティア・市民活動情報サイト「ぼらのたねっと」の充実
ボランティア・助成金・講座・お知らせ等に関する各種情報の発信。
- (4) Facebook による情報発信
大分県ボランティア・市民活動センターの Facebook で、各種情報発信。
- (5) ボランティア・市民活動ルーム利用管理
ボランティアグループ、市民活動団体に部屋の貸出。
(23団体 延べ117人利用)
- (6) ボランティア保険受付業務
各種ボランティア保険の受付。
(活動保険 1,061人、 行事保険 226件)
- (7) その他広報
 - ① ボランティアグループ名簿（H31年3月発行）の作成・配布
 - ② 県社協広報誌「大分社会福祉（だいふく）」への寄稿

3 福祉教育の推進支援

福祉体験学習（体験・交流活動等）を通じ、県内の小・中・高等生に福祉への関心や理解の醸成を図る。また、県内の学生や社会人に、夏休みを中心に福祉施設等でのボランティア体験をしてもらいボランティア活動への振興を図った。

(1) 青少年福祉体験教室

福祉施設等での1日体験学習

実施数0回・参加者数 0名（小学校 回・ 名、中学校 回・ 名）

(2) ふれあい学習

学校で障がい者自身の体験談等の講演や児童・生徒が擬似体験等を行うことにより、障がい者への理解と児童・生徒との交流を深めた。

実施数及び参加者数

・小学校10回	521名	・中学校2回	88名
・高等学校 0回	0名	・ 計 12回	609名

(3) 夏のボランティア体験月間事業の普及促進

①期 間 7月20日～8月31日

ア 参加者 1,621名

(高校生 1,158名、大学生等 106名、小中学生 339名、その他 18名)

イ 参加施設数 457施設

②説明会の開催 4月16日（火）市町村社協ボランティア担当者

(4) 福祉教育実践研究発表会

期 日 令和元年10月17日(木)

場 所 トキハ会館

参加者 205名(学校関係者・ボランティア・一般参加者等)

内 容 実践発表

② 大分県立芸術文化短期大学

②大分県立南高等学校

※県ボランティア・NPO推進大会と同時開催

4 企業・団体等のボランティア・市民活動支援

(1) いきいきセカンドライフインターンシップ

令和元年度から廃止

(2) 住民参加型在宅福祉サービス研修会

※「福祉ボランティアリーダー研修会」と同時開催

日 時：令和元年10月29日(火) 13:00～14:30

場 所：竹田津くらしのサポートセンターかもめ(国東市)

参加者：26人

講 義：「活力ある竹田津地区の暮らしを目指して」

講 師：竹田津くらしのサポートセンターかもめ 会長 坂口 弘道 氏

5 災害ボランティア活動の推進

(1) 災害ボランティアネットワーク体制の充実

① 大分県災害ボランティア運営スタッフ検討委員会

・第1回 平成31年4月26日(金)

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 8名

内 容 運営支援事業カリキュラムについて

・第2回 令和元年6月19日(水)

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者 9名

内 容 運営リーダー研修会等について

・第3回 令和元年12月13日(金)

場 所 総合社会福祉会館3階研修室

参加者 6名

内 容 第2回災害ボランティアリーダー研修の開催について
災害時の社協の役割について
佐賀県における災ボラ支援の振り返り

(2) 大分県災害ボランティアリーダー研修会の開催

第1回

期 日 令和元年7月4日(木)

場 所 県総合社会福祉会館

参加者 31名

内 容 ①発災初動時におけるボランティアコーディネートについて

③ センター運営で有効な情報発信のあり方について

講 師 ①NPO法人リエラ代表理事 松永 謙矢 氏

②大分県災害ボランティアセンター運営支援事業検討委員

③ さいばーとれいん代表 斉場 俊之 氏

第2回

【新型コロナウイルス感染防止のため中止】※以下は予定

期 日 令和2年3月9日(月)・10日(火)

場 所 総合社会福祉会館

参加者 社協職員、行政職員災害ボラネットワーク会員

内 容 ①「令和元年8月の前線に伴う大雨災害における災害ボランティアセンターの取り組みについて」

②「災害ボランティアセンター運営支援を振り返って」

④ 「床下作業における知識と見立ての技術について学ぶ」

⑤ 「多機関・団体との協働した災害ボランティア活動について」

講 師 ①おもやいボランティアセンター(佐賀県武雄市)

代表 鈴木 隆太 氏

②大分市社会福祉協議会 事務局長 宮成 隆 氏

佐伯市社会福祉協議会 総務課 安達 信也 氏

③NPO法人リエラ 代表理事 松永 謙矢 氏

おもやいボランティアセンター 代表 鈴木隆太 氏

④NPO法人「結」 代表 前原 土武 氏

特別研修

期 日 令和元年5月21日(火)～22日(水)

場 所 国際ファッションセンターKFCホール

参加者 4名

内 容 「災害時の連携を考える全国フォーラム」(JVOAD主催)

(3) 災害ボランティアセンター運営スタッフ研修会

・佐伯市社会福祉協議会

期 日 令和元年6月26日(水)

場 所 佐伯市社会福祉センター

参加者 20名

内 容 台風18号報告、事業計画

- ・宇佐市社会福祉協議会
期 日 令和元年6月29日（土）
場 所 さんさん館本館
参加者 50名
内 容 災害ボランティアセンター運営訓練

- ・大分市社会福祉協議会
期 日 令和元年7月11日（木）
場 所 ホルトホール3階大会議室
参加者 250名
内 容 講義「災害を知り、備えを考える」別府市 村野 淳子 氏
- ・津久見市社会福祉協議会
期 日 令和元年7月30日（火）
場 所 津久見市市民ふれあい交流センター
参加者 12名
内 容 災害ボラセン運営の情報共有、坂町災害助け合いセンター支援報告
- ・国東市社会福祉協議会
期 日 令和元年9月1日（日）
場 所 国見B&G海洋センター
参加者 10名
内 容 災害ボランティアセンター運営訓練
- ・杵築市社会福祉協議会
期 日 令和元年9月1日（日）
場 所 杵築市立山香小学校
参加者 20名
内 容 災害ボランティアセンター運営訓練
- ・日出町社会福祉協議会
期 日 令和元年9月1日（日）
場 所 日出町保健福祉センター
参加者 5名
内 容 災害ボランティアセンター運営訓練
- ・別府国東市社会福祉協議会
期 日 令和元年9月1日（日）
場 所 別府市社会福祉協議会大広間
参加者 32名
内 容 講義「災害ボランティアについて」NPO法人リエラ 松永鎌矢氏

（４） 市町村災害ボランティアネットワーク協議会の設置・推進

県内の全ての市町村社協に災害ボランティアネットワークを設置してもらうため、未設置社協には訪問の上説明・要請を行った。

- ・設置済み・・・中津市、日田市、佐伯市、竹田市、豊後高田市、宇佐市、九重町、玖珠町、津久見市、杵築市、日出町、大分市

- ・設置予定・・・臼杵市、豊後大野市、別府市
- ・設置未定・・・由布市、国東市、姫島村

(5) ①大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会の開催

期 日 令和2年3月10日(火)

【新型コロナウイルス感染防止のため中止】

②大分県災害ボランティアネットワーク連絡協議会幹事会の開催

期 日 令和2年3月10日(火)

【新型コロナウイルス感染防止のため中止】

(6) 大分県総合防災訓練への参加

期 日 令和元年9月1日(日)

場 所 国東市、杵築市、日出町

内 容 災害ボランティアセンター運営訓練

(7) 災害ボランティアセンターへの支援

災害ボランティアセンター運営支援事業現地研修として

令和元年8月31日～9月7日 8名

佐賀県多久市(5名)、大町町(2名)、武雄市(1名)

(8) その他

- ① 大分県災害ボランティアの登録
- ② 全国被災地への支援(ボランティア、運営支援者等コーディネートなど)
- ③ 講師としての活動等

6 福祉避難体制強化事業

熊本地震を教訓に、福祉避難所の立ち上げがスムーズにできるよう、平成29年度に作成した福祉避難所総合マニュアルの周知を図るとともに、福祉避難所の人材を育成し、施設や行政の役割や連携について考えることを目的に研修を開催する。

※令和元年度から当会自主事業

(1) 福祉避難所実務者研修

【第1回】

期 日 令和元年11月5日(火)

場 所 大分県総合社会福祉会館

参加者数 195名

【第2回】

期 日 令和元年11月6日(水)

場 所 ウサノピア 小ホール

参加者数 71名

(2) 福祉避難所サポーター登録制度

期 日 平成30年度から登録受付継続中

内 容 下記サポーターの登録業務受託

①福祉避難所で介助者の支援や相談への対応

②福祉避難所の設置が長期化した場合の交代要員の派遣

登録数 個人 10人 (令和2年3月末現在)

団体 21団体(160人)

7 災害時要配慮者支援事業

(1) 福祉関係者に対するセミナー開催

開 催： 27回

参加者：3,619人

(2) 要配慮者に対する防災教室開催

開 催： 19回

参加者：536人

(3) 自主防災組織へのアドバイザー派遣

開 催： 7回

参加者：324人

8 その他

○ふくしまっ子応援プロジェクト9

日 程 令和元年 7月20日(土)～24日(水)

参加者 福島県相馬郡新地町の小学生(5・6年生)18名と引率者3名

内 容 アクアビート、海水浴(田ノ浦ビーチ)、おんせん体験、うみたまご(あそびーち)、九州北部豪雨被災地視察・交流(福岡県東峰村)、自然体験、ソーメン流し、地引き網体験、坂本八幡神社(令和ゆかり)等

※7/22午前中大雨のため、急遽アクアビートへ変更。

午後天気が回復したため、田ノ浦ビーチへ

Ⅱ フードバンクおおいた

(1) 食品取扱量（R 1 年度 R 2 年 3 月末現在）

寄贈食品 43,068品 18.2トン

提供食品 39,589品 17.8トン

※主な提供先：子ども食堂、市町村社協（生活困窮相談窓口）、くらしサポート事業実施施設、児童養護施設、大分県母子寡婦福祉連合会 等

(2) フードドライブ

- ・コープおおいた ・マルミヤ ・伊予銀行大分支店 ・大分県教職員組合
- ・プルデンシャル生命保険 ・九州労金 ・おてらおやつクラブ・浄土宗
- ・大分県民生委員児童委員協議会 ・九電大分支店・市町村社協 等

(3) フードバンクキッチン

①日 時 令和元年10月16日・23日（水）

場 所 杵築市社協

内 容 地域の子ども・保護者を対象に災害食料理教室、食事会

参加者 17名

(5) 生活困窮者等緊急食料支援

大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会の基金を原資として、緊急食料支援の三日間セット（9食分）を市町村社協やくらしサポート事業実施施設等へ配布

(6) 広報・周知

講演：県立芸術文化短期大学、溝部学園女子短期大学、大分県及び大分市スクールソーシャルワーカー研修会、大分県生協大会

行事参加：大分市社会福祉大会、大分県環境感謝祭、あすぴあフェスタ 2019、春日まつり

3 長寿いきいき班

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「豊の国ねんりんピック」を開催。スポーツ交流については、9月22日に主日程をする予定だったが、台風17号の接近により中止（史上初）とした。（他日程の競技は実施）

「全国健康福祉祭和歌山大会」への選手団派遣（予定）のほか、地域活動を促進するためのリーダーの育成及び普及啓発活動等の事業を実施した。

1 豊の国ねんりんピック開催事業

（1）第30回記念豊の国ねんりんピック 美術展 等

期 日 令和元年5月14日（火）～5月19日（日）

会 場 大分県立美術館 OPAM（大分市寿町）

入場者数 1,053名

① 美術展

（点）

部 門	日本画	洋画	彫刻・彫塑	工芸	書	写真	合計
作品数	34	34	6	51	21	75	223

※ほかに、工芸（集団創作）2点。全作品を展示。

② シルバーふれあい短歌・俳句・川柳展

（点）

部 門	短 歌	俳 句	川 柳	合 計
作品数	306	818	570	1,694

※36点（各部門12点）の特選及び入選の作品を展示。

（2）第30回記念豊の国ねんりんピック（スポーツ等交流大会）

下記のとおり開催予定だったが、台風17号接近により主日程を中止した

期 日 令和元年9月22日（日）（主日程）

会 場 県立総合体育館、大洲総合運動公園ほか

事 業 名	会 場	日 程	参加 人員
総 合 開 会 式	県立総合体育館	（中止）	実施
スポーツ交流大会（12競技）	大洲総合運動公園ほか	（中止）	ゴルフ
〃 ゴルフ	別府の森ゴルフ倶楽部	10/31	剣道
ふれあい交流大会（4競技）	大洲総合運動公園ほか	（中止）	サッカー
シルバー囲碁大会	県総合社会福祉会館	（中止）	登山
シルバー将棋大会	県総合社会福祉会館	（中止）	パーク
（協賛イベント）親善交流登山会	本宮山（大分市）	（中止）	ゴルフ
（〃）太極拳交流大会	県立総合体育館	（中止）	ミニ
（〃）第5回大分県パークゴルフ交流大会	国東パークゴルフ場	10/27	テニス
（〃）大分県ミニテニス交流大会	大分市日吉原体育館	10/7	572名

2 第32回全国健康福祉祭和歌山大会派遣事業

(1) 選手団派遣

結団壮行式 令和元年10月29日(火)
開催期間 令和元年11月9日(土)～12日(火)
参加人員 選手74名、本部役員7名(計14種目、81名)

種 目 等	人 員	種 目 等	人 員	種 目 等	人 員
卓 球	6	マラソン	4	ダンススポーツ	0
テ ニ ス	6	弓 道	6	バウンドテニス	0
ソフトテニス	0	剣 道	5	囲 碁	3
ソフトボール	12	太 極 拳	7	将 棋	3
ゲートボール	0	グラウンド・ゴルフ	6	健康マージャン	4
ペタンク	3	ソフトバレーボール	6		
ゴ ル フ	3	サッカー	0	役 員	7

(2) 試合結果

<優勝>

該当なし

<優秀賞>

該当なし

(3) 美術展

①出品

豊の国ねりんピック美術展で最優秀賞を受賞した日本画・洋画・彫刻・
工芸・書・写真の各2作品を出品

① 入賞

銅賞 写真 「冬の鍋ヶ滝」 熊谷 明 (竹田市)

3 生きがいと健康づくり事業の普及・啓発

ホームページによる情報提供

- ① 第30回記念豊の国ねりんピック (美術・短文学)
- ② 第30回記念豊の国ねりんピック (スポーツ交流等)
- ③ 第32回全国健康福祉祭和歌山大会
- ④ ニューススポーツ用具の貸し出し

ほか

4 ニューススポーツ用具の貸し出し

(1) 用具の貸出回数 92回

(2) 延べ利用人数 2,687名

用具一覧

1	オーバーボール	14	フリーブロー
2	カローリング	15	ペタンク
3	グラウンドゴルフ	16	ポケネット
4	ゲーゴルゲーム	17	輪投げ
5	じゃんけんペタンコ	18	フライングディスク
6	ストライクトレーナー	19	囲碁ボール
7	スマイルボウリング	20	ビーンボウリング
8	ソフトペタンク	21	ユニカール
9	ターゲットバードゴルフ	22	絵手紙セット
10	クロリテー	23	カラー玉入れ
11	チームラビリンス	24	ラガーゲッター
12	バグゴ	25	ターゲットゲーム
13	ヒットだ!ターゲット		

5 全国会議・研修会

(1) 全国明るい長寿社会づくり推進機構会議

①全国健康福祉祭担当係長会議

令和元年5月16日(木)～17日(金) 和歌山県

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

令和元年7月2日(火) 東京都

③ 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

令和2年2月28日(金) 東京都

(2) 九州ブロック明るい長寿社会づくり推進機構会議

九州地区明るい長寿社会づくり推進機構実務者会議

令和2年1月24日(金) 熊本県

福祉資金部

低所得者世帯等に対し「生活福祉資金」の適切かつ迅速な貸付を行った。

また、償還が遅れている世帯に対して、市町村社協や民生委員を通じて世帯状況の把握に努めたほか、電話や戸別訪問による償還指導を行った。

さらに、1月頃より世界的に流行している「新型コロナウイルス感染」により、3月から全国で開始された、新型コロナウイルスの影響により減収等が生じた世帯に対する「緊急小口資金等の特例貸付」を実施した。

福祉人材の確保を目的に、一定期間、就労することで貸付金の返還が免除される「介護福祉士等修学資金」や「保育士修学資金」等の貸付を行った。

また、生活基盤の確保が困難な方の自立支援を目的に、一定期間、就労することで貸付金の返還が免除される「ひとり親家庭高等職業訓練促進資金」や「児童養護施設退所者等に対する自立支援資金」の貸付を行った。

1 生活福祉資金貸付事業の推進

(1) 制度周知

県社協のホームページをはじめ、広報用パンフレット等を配布し制度の周知に努めた。

(2) 貸付審査等運営委員会の開催

貸付に際し、「生活福祉資金貸付審査等運営委員会」及び不動産担保型資金審査会を開催した。

ア. 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

(単位：千円)

	開催日	申 請		決 定	
		件数	金額	件数	金額
第1回	4月17日	2	3,470	2	3,470
第2回	5月23日	2	3,710	2	3,710
第3回	6月19日	4	7,308	4	7,308
第4回	7月17日	4	1,448	4	1,448
第5回	8月21日	3	1,504	3	1,504
第8回	11月19日	1	642	1	642
第9回	12月16日	3	4,247	3	4,247
第10回	1月22日	3	5,065	3	5,065
第11回	2月19日	14	9,529	13	5,529
第12回	3月17日	6	3,827	5	1,327

イ. 不動産担保型資金審査会

(単位：千円)

	開催日	申 請		決 定	
		件数	金額	件数	金額
第 1 回	6 月 26 日	1	9,128	1	9,128
第 2 回	1 月 29 日	3	22,690	3	22,690

(3) 借入申請・決定状況

ア. 生活福祉資金

(単位：千円)

資金種類		申 請		決 定	
		件 数	金 額	件 数	金 額
1	総合支援資金	11	5,112	6	4,754
	(1) 生活支援費	10	4,719	5	4,361
	(内：特例貸付 3/18 ～ 3/31)	2	780	2	780
	(2) 住宅入居費	1	393	1	393
	(3) 一時生活再建費				
2	福祉資金	650	96,820	648	92,574
	(1) 福祉費	168	50,876	166	46,680
	(2) 生活復興支援資金	0	0	0	0
	(3) 緊急小口資金	482	45,944	482	45,894
	(内：特例貸付 3/18 ～ 3/31)	81	15,050	81	15,050
3	教育支援資金	145	69,710	143	66,950
	(1) 教育支援費	64	46,097	62	43,337
	(2) 就学支度費	81	23,613	81	23,613
4	不動産担保型生活資金	4	31,818	4	31,818
	(1) 不動産担保型生活資金	2	22,134	2	22,134
	(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金	2	9,684	2	9,684
計		810	203,460	801	196,096

イ. 臨時特例つなぎ資金

(単位：千円)

資金種類	申 請		決 定	
	件 数	金 額	件 数	金 額
臨時特例つなぎ資金	3	142	3	142

(6) 資金種類別償還率

(単位：円)

資金種類	償還計画額 (A)	償還実績 (B)	償還率 (B/A)
総合支援資金	208,771,961	13,137,562	6.29%
更生資金	61,302,364	2,548,882	4.16%
(障害者) 更生資金	25,464,920	3,072,000	12.06%
生活資金	47,350	12,600	26.61%
福祉資金	73,260,101	32,415,473	44.25%
福祉資金 (住宅)	11,440,140	551,180	4.82%
教育支援資金	122,529,325	30,579,760	24.96%
療養・介護等資金	1,796,930	609,660	33.93%
災害等援護資金	4,160,330	935,280	22.48%
緊急小口資金	101,709,541	27,384,035	26.92%
生活復興支援資金	1,406,170	124,390	8.85%
離職者支援資金	124,138,585	4,780,160	3.85%
不動産担保型生活資金	0	0	0.00%
要保護児童世帯向け 不動産担保型生活資金	0	6,287,700	-
合 計	736,027,717	116,150,982	15.78%

資金種類	償還計画額 (A)	償還実績 (B)	償還率 (B/A)
臨時特例つなぎ資金	3,382,580	165,660	4.90%

※償還率 令和元年度に償還すべき金額（償還計画額）に対する償還実績

2 生活福祉資金債権管理強化推進事業

滞納を続けている債務関係者に対する戸別訪問等による督促や、転居先の住民票請求による所在調査を実施した。

(1) 督促通知（年4回発行）

3ヶ月間連続して償還のない借受人等に対し、督促を送付した。

(2) 住民票調査

通知が返送された借受人等の住民票請求を行った。

調査件数 114件

(3) 訴訟

償還指導を行ってきたが、再三にわたり償還指導を行ったが償還しない方について本会顧問弁護士に訴訟を委任した。

(4) 償還免除の実施状況

決定件数	18 件
元 金	5,520,487 円
利 子	329,957 円
延滞利子	4,554,511 円

3 生活福祉資金生活再建・償還相談事業

(1) 対象世帯（先）数

滞納が初期段階と概ね 6 か月以上滞っている世帯（先）を中心に実施。

(2) 取組内容

- 電話連絡による世帯状況の把握
- 通知書の発送による世帯状況等の把握
- 訪問による償還相談
- 面談による償還相談
- 誓約書等を提出した返済合意先の期日管理（電話、通知、再面談等）

(3) 償還相談、償還指導の取り組み

- ア．電話連絡 3, 0 4 0 件
- イ．通知書等発送 5 4 件
- ウ．訪問（自宅等） 1 9 9 件
- エ．面談（社協） 1 2 件

(4) 取組実績（内容）

貸付先訪問や償還要請を書面により通知した。また、返済に関する合意又は誓約書等により回収した。

①生活福祉資金管理案件回収実績（継続管理中の 25 年度取扱案件も含む）

（単位：円）

大分市	別府市	杵築市・日出町	その他	計
10,134,827	8,851,727	4,398,499	10,439,969	33,825,022

4 新たな貸付事業

(1) 各貸付制度の周知

県内の介護事業所、保育所、児童養護施設のほか、県・市町村、福祉関係機関・団体に対し、制度案内チラシや貸付の手引きを送付し周知した。

(2) 貸付決定件数・金額等

資金種類	募集人員	貸付件数	貸付決定金額
介護福祉士修学資金	30 人	21 件	34,680,000 円
社会福祉士修学資金	5 人	3 件	3,000,000 円
介護実務者研修受講資金	15 人	24 件	4,800,000 円
離職介護人材再就職準備金	50 人	13 件	2,600,000 円
保育士修学資金	120 人	106 件	150,150,000 円
保育士就職準備金	80 人	46 件	18,400,000 円
児童養護施設入所者等自立 支援資金	—	生活支援 5 件	6,950,000 円
		家賃支援 3 件	2,140,000 円
		資格取得 16 件	4,000,000 円
ひとり親家庭高等職業訓練 促進資金	—	20 件	8,200,000 円

施設団体支援部

種別協議会を通して各福祉分野における課題に対応した研修事業、調査・研究活動等を行うとともに、新たな社会福祉法人制度に対応したセミナーや経営指導事業を行った。

県受託事業による球技大会等の実施、各種別協議会が主催する九州関係の研修や研究大会の運営支援を行った。

1 社会福祉施設経営指導事業

(1) 個別指導

社会福祉施設の適正かつ安定的な経営と利用者サービスの向上を図ることを目的に経営指導員による指導・助言を行った。

令和元年度の相談実績は、25件となった。

相談実績

項 目	件 数 (件)	割 合 (%)
利用者サービスに関すること	24	96.0
施設経営に関すること	1	4.0
会計及び経理に関すること	0	0.0
施設整備に関すること	0	0.0
その他の運営に関すること	0	0.0
合 計	25	100.0

(2) 集団指導「経営支援セミナー」の実施

2 社会福祉施設経営支援事業

社会福祉施設の健全かつ発展的な経営を目的とした各種研修会・セミナーを開催した。

「社会福祉施設等経営支援セミナー」

- ① ホスピタリティを表現する接遇マナー研修
- ② 記録の書き方研修
- ③ ハラスメント防止研修
- ④ コミュニケーション力向上研修
- ⑤ チームワーク力向上研修
- ⑥ メンタルヘルス研修
- ⑦ プロ意識醸成研修 ～仕事の意識向上のために～
- ⑧ アンガーマネジメント研修
- ⑨ 効果的な部下・新人育成の実務研修
- ⑩ 権利擁護／虐待防止とリスクマネジメント研修

※第10回は、新型コロナウイルス感染防止のため中止

3 義務教育教員免許志願者に対する介護等体験事業

教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図ることを目的に実施している本事業について16大学から359名の申込みがあり、各社会福祉施設での5日間の体験学習を実施した。

介護等体験修了者数

県内・県外の別	大 学 数	体験者数（人）
県内の大学	6大学	340
県外の大学	10大学	19
合 計	16大学	359

4 児童福祉関係行事委託事業の実施

児童福祉施設や知的障がい施設の利用者に対し、各種スポーツ大会を実施した。

- (1) 令和元年度大分県知的障がい施設球技大会（ティーボール、グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール）
- (2) 第55回大分県児童福祉施設等卓球大会
- (3) 第58回大分県児童福祉施設等球技大会（野球、バレーボール）

5 種別協議会等の運営の支援

- (1) 大分県老人福祉施設協議会

① 各種会議等の開催

総会（2回）、正副会長会議（8回）、役員会（6回）、制度政策専門委員会（1回）、外国人人材受入に関する小委員会（3回）、研修専門委員会（5回）、ノーリフティンケア推進委員会（5回）、困難事例集制作小委員会（3回）、在宅専門委員会（1回）、特養委員会（3回）、養護老人ホーム委員会（1回）、軽費・ケアハウス委員会（2回）、デイサービス委員会（2回）

② 研修会等の開催

実践研究大会、施設長研修会、介護職員研修、栄養士・調理師研修、相談員研修、在宅関係事業所等職員研修、デイサービスセンター職員研修、マナー研修、口腔ケア研修、ノーリフティングケア導入研修、写真の撮り方研修、外国人介護人材受入推進セミナー等の開催

③ その他の活動

「介護って素晴らしいフォトコンテスト」の実施、法務対策協議会事業の実施、県福祉保健部職員施設体験実習の受入協力、全国老施協災害派遣福祉チームへの登録、県との意見交換会、国・県に対する予算要望活動等

- (2) 大分県身体障害児者施設協議会

① 各種会議等の開催

施設長会（3回）

- ② 第38回九州身体障害児者施設研究大会（大分大会）の運営
- ③ 職員研修会「アドバンス・ケア・プログラムに関する研修」
※新型コロナウイルス感染防止のため中止
- ④ 国・県等に対する要望活動の実施
- ⑤ 関係団体会議等への出席
- ⑥ その他県関係の会議出席

（３）大分県児童養護施設協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（６回）、企画運営委員会（６回）
- ② 研修会等の開催
新任職員研修会、子どもの人権権利擁護研修、社会的養護を考えるトップセミナー、社会的養育施設職員等合同研修会、調理師・栄養士等職員研修、施設心理士連絡研修会、職業指導員連絡会、施設看護師連絡研修会 等
- ③ 啓発事業
第５回「オレンジリボンたすきリレー」の実施
- ④ その他の活動
児童旅立ち激励会
国・県等に対する要望活動の実施

（４）大分県知的障害者施設協議会

- ① 各種会議等の開催
総会（１回）、役員会（３回）、施設長会（２回）、正副会長会（３回）、制度政策委員会（２回）、研修委員会（３回）、施設長対象部会会議（１回）、職員対象部会会議（１回）、ゆうあいスポーツ大会実行委員会（５回）、球技大会実行委員会（４回）
- ② 研修会の開催
職員研修会（２回）
- ③ 各種スポーツ大会等の開催
第３９回大分県ゆうあいスポーツ大会、第５５回卓球大会、第２３回施設利用者ボウリング大会、親善球技大会（ティーボール・グラウンドゴルフ、ソフトバレーボール）
- ④ その他の活動
国・県等に対する要望活動の実施

（５）大分県就労支援事業所協議会

- ① 各種会議等の開催
施設長会（３回）、役員会（２回）、研修委員会（２回）、ＰＲ委員会（４回）
- ② 研修会・大会等の開催
施設長研修会（１回）、職員研修会（１回）

③ その他の活動

セルプ自動販売機設置事業の推進、令和元年台風１５号及び１９号にかかる義援金の協力

国・県等に対する要望活動の実施 等

(６) 大分県母子生活支援施設協議会

① 各種会議等の開催

総会（１回）

② 研修会等の開催

職員研修会（２回）

③ その他の活動

国・県等に対する要望活動の実施

(７) 大分県里親会

① 各種会議等開催

総会（１回）、理事会（５回）、里親のつどい実行委員会（４回）

② 大分県里親のつどい

③ 里親サロン事業（県内６ブロックで実施）

④ 里親賠償責任保険業務

⑤ 広報誌「縁～e n～」の発行（３回）

(８) 大分県地域包括・総合相談・在宅介護支援センター協議会

① 各種会議等の開催

総会（１回）、理事会（２回）、幹事会（１回）

② 研修会等の開催

職員研修会、ブロック別研修会

③ その他の活動

国、県等に対する要望活動の実施

(９) 大分県社会福祉法人経営者協議会

① 各種会議等の開催

総会（２回）、役員会（３回）

② 研修会の開催

法人経営に関する講演会（１回）法人経営セミナー（２回）、防災士養成研修（３日間）、財務諸表等電子開示システムに関する研修（１回）、ＢＣＰ（事業継続計画）策定研修（１回）、中長期計画策定研修（１回）、外国人介護人材受入推進セミナー（１回）

③ その他の活動

組織強化に向けた入会促進、経営協情報の提供

国、県等に対する要望活動の実施

(10) 大分県社会福祉法人経営青年会

- ① 各種会議等開催
総会（１回）、役員会（４回）
- ② 研修会等の開催
４Ｅの会、資質向上研修会（２回）等
- ③ その他の活動
組織強化に向けた入会促進

(11) 大分県知的障害児者生活サポート協会

- ①協会の運営支援
総会（１回）、理事会（２回）、事務担当者連絡会（１回）
- ②研修会の開催
メンタルヘルス研修
- ③交流事業
ボウリング大会の実施、お楽しみ抽選会の実施、クリスマスパーティーの実施

6 善意銀行関係・その他事業

(1) 児童就学支度金給付

児童養護施設、母子生活支援施設に入所する子どもで高等学校等へ入学する子に対して支給（１人あたり 20,000 円） 件数：38 名（11 施設）

(2) 渡邊昭子傘寿記念奨学基金

児童養護施設に入所児で大学、短大等へ進学する際の入学金、授業料等に対して支給 件数：4 名（2 施設）

(3) 物品等の寄贈

九州納豆組合（納豆）、大分県農業共済組合（感謝米）等の寄贈物品を児童福祉施設等に対して配分

(4) 老人福祉事業助成金

「老人はげみの里見会」の助成金を県内高齢者施設に対し、ノーリフティングケア関係機器の購入費として配分するとともに、高齢者施設の永年勤続職員への感謝記念品として贈呈した。

社会貢献推進班

県内社会福祉法人（施設）で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」と連携・協働して、社会福祉法人の地域公益活動（社会貢献活動）の推進のほか、施設職員（CSW）による、制度の狭間で困っている生活困窮者等に対する相談支援事業「おおいたくらしサポート事業」を実施した。

1 社会福祉法人による地域公益活動（社会貢献活動）の推進

県社協及び経営協をはじめとする各種別協議会が連携・協働して地域公益活動（社会貢献）を推進した。

（１）協議会への運営支援

①総会の開催

令和元年６月３日（月）

②大分県社会貢献活動推進運営委員会の開催

第１回 令和元年 ５月１３日（月）

第２回 令和元年１２月１２日（木）

第３回 令和２年 ３月 ２日（月）

（２）社会福祉法人に対する地域公益活動の推進支援

①社会貢献活動助成事業の実施（５法人）

- ・子ども食堂・居場所づくり事業
- ・子ども預かり事業・就労支援事業

②「社会貢献活動実践レポート」の作成

- ・子ども食堂・居場所づくり事業
- ・就労支援事業

③「地域公益活動の展開を考えるセミナー」の実施

- ・期日：令和元年６月３日（月）
- ・テーマ：「いのちが分断される時代に～私たちは何を大切にしてきたか～」
- ・講師：特定非営利活動法人 抱撲 理事長 奥田 知志 氏

（３）「おおいたくらしサポート事業」の推進

①社会福祉法人（施設）のCSWによる生活困窮者等への相談支援事業

- ・経済的援助実人数 １１７名（現物給付）
- ・相談受付 １６１件
- ・転居費用等に係る経済的援助の拡充（Ｒ元年６月～） １０件

②人材養成の実施

- ・第９回コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（３日間）
 - （第１日）令和２年２月 ５日（水）
 - （第２日）令和２年２月２７日（木）

(第3日) 令和2年3月10日(火)

※ 第3日は、新型コロナウイルス感染防止のため延期

- ・コミュニティソーシャルワーカースキルアップ研修

令和2年3月11日(水)

※ 新型コロナウイルス感染防止のため中止

③生活困窮者自立支援事業等との連携

- ・エリア連携会議の開催
- ・各種会議・研修への参画

④くらしサポート事業の実施体制整備

- ・CSW 現況・活動調査の実施
- ・拠点施設 CSW 連絡会議の開催(3回)
- ・CSW 活動保険の加入
- ・弁護士との連携体制の整備

(4) 広報・啓発活動の実施

①事例集の発行

- ・「社会福祉法人による社会貢献活動事例集 VOL 4」の発行、配布 5,000 部
令和2年3月発行(15法人紹介)

②新聞社との連携による発信

- ・社会福祉法人の社会貢献の取り組みを大分合同新聞で広報

福祉サービス評価センターおおいた

福祉サービスの質の向上及び利用者への情報提供を目的とする福祉サービス評価事業として、福祉サービス第三者評価及び地域密着型サービス等外部評価を実施した。

1 福祉サービス評価委員会の開催

回数	期 日	主 な 内 容
第 1 回	4 月 1 9 日	(1) 平成 3 0 年度事業実績及び決算見込について (2) 平成 3 1 年度事業計画及び収支予算について
第 2 回	9 月 1 3 日	(1) 令和元年度事業の進捗状況について
第 3 回	2 月 7 日	(1) 令和元年度事業の進捗状況について

2 地域密着型サービス等外部評価審査委員会の開催

期 日	主 な 内 容
4 月 2 5 日	(1) 平成 3 0 年度評価センター事業経過報告及び決算について (2) 平成 3 1 年度評価センター事業計画及び予算について

3 評価・調査実績

評価結果は、評価を受けた事業者の同意を得て独立行政法人福祉医療機構の WAM・NET や当センターのホームページに公表し、福祉サービス利用者へ情報提供を行った。

(1) 福祉サービス第三者評価

種 別	R 1 件 数	H 3 0 件 数	H 2 9 件 数	H 2 8 件 数	H 2 7 件 数
特別養護老人ホーム	3	1	2	2	2
通所介護		1	3	1	4
訪問介護					1
保育所（認定こども園含む）		2	2		3
障害者支援施設			2		1
障害児施設			1		
救護施設	1				
児童養護施設	2	2	5	2	2
母子生活支援施設	2		1	2	
児童自立支援施設			1		
乳児院			1		
児童心理治療施設			1		
計	8	6	1 9	7	1 3

(2) 地域密着型サービス等外部評価

種 別	R 1 件 数	H 3 0 件 数	H 2 9 件 数	H 2 8 件 数	H 2 7 件 数
認知症対応型共同生活介護 事業所（認知症高齢者グル ープホーム）	5 4	3 6	5 7	3 3	6 5
計	5 4	3 6	5 7	3 3	6 5

※平成22年度から、「大分県地域密着型サービス等外部評価実施要綱第3の2」の規定が適用された
場合、外部評価実施回数が緩和されること（2年に1度受審）となったため件数が減少している。

4 研修・会議の開催

研 修 名	期 日	会 場	参加者
第三者評価調査者及び外部評価 調査員意見交換会	9月20日	県総合社会福祉会館	10名
外部評価調査員フォローアップ 研修会	12月11日	県社会福祉介護研修 センター	8名
福祉サービス第三者評価事業 「評価事業者普及協議会」	6月11日	全国社会福祉協議会	1名

5 第三者評価機関に関する情報公開

当センターのホームページに、規程をはじめ評価手数料等を公開している。

身体障害者福祉センター（あすぴあおおいた）

I 管理業務の実施状況

1 事業の成果

- (1) 障がい者の社会参加を推進するため、障がい者関係団体等の協力を得て、スポーツ・レクリエーション、趣味・文化及び機能訓練等の各種教室を開講した。また、障がい者関係団体等の会議、研修、訓練の場として便宜を供与するとともに各種文化行事、スポーツ大会等を開催した。さらには、障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じて共に楽しむ場として「あすぴあ倶楽部」を開設した。
- (2) 障がい者と県民の交流を目的としたふれあいフェスタ2019を10月27日（日）に開催した。当日は、ふれあい市、講演会、各種体験教室等、いずれのイベントにも多くの来場者で賑わった。

2 サービス改善提案事業の成果

- (1) 文化芸術地域支援講座
障がい者支援施設や団体等の創作活動等を支援するため、10月に1団体に対して講師を派遣した。
- (2) 介護予防支援講座
I A D L 向上に向けた介護予防に関するセルフケアやストレッチングなど生活と運動についての個別指導を令和元年12月から2年2月にかけて実施した。

II 管理施設の利用状況

1 全体の利用状況

	令和元年度	平成30年度	前年対比
開 所 日 数	3 0 3 日	3 0 4 日	9 9 . 7 %
障がい者利用者数	2 3 , 9 6 7 人	2 5 , 7 4 7 人	9 3 . 1 %
介護者・ボランティア	9 , 8 3 0 人	1 1 , 0 3 1 人	8 9 . 1 %
福 祉 団 体 等	8 , 0 4 1 人	7 , 7 3 2 人	1 0 4 . 0 %
障がい者以外利用者	2 8 , 0 5 5 人	3 1 , 1 8 1 人	9 0 . 0 %
総 利 用 者 数	6 9 , 8 9 3 人	7 5 , 6 9 1 人	9 2 . 3 %

2 利用登録団体

- ① 文化施設利用登録団体 (49団体)
- ② スポーツ団体利用登録団体 (36団体)

3 スポーツ大会の開催

(1) 第17回あすぴあおおいた卓球バレー大会

期 日 令和元年 5 月 19 日 (日)

参 加 者 9 チーム 93 名 (うち障がい者 54 名)

内 容 卓球台を 6 人 1 チームで囲んで対戦する競技

優 勝	準 優 勝	第 三 位
コスモス A (大分市)	別府フラワーズ B (別府市)	別府フラワーズ A (別府市)

(2) 第25回あすぴあおおいたふうせんバレーボール大会

期 日 令和元年 6 月 2 日 (日)

参 加 者 14 チーム 151 名 (うち障がい者 67 名)

内 容 6 人 1 チームでふうせんを 1 人必ず 1 回ずつ触れて、相手チームに返す競技

部 門	優 勝	準 優 勝	第三位	交流の部
由布ブロック	ポップコーン (大分市)	にゃんこの眼 (中津市)	おおいたふうせんバレーボール 振興委員会 (宇佐市)	ゆめいろ A (大分市)
鶴見ブロック	ゆめいろ B (大分市)	淡窓日田 (日田市)	別府フラワー A (別府市)	スカイラブ (大分市)

(3) 第34回あすぴあおおいたサウンドテーブルテニス大会

期 日 令和元年 7 月 21 日 (日)

参 加 者 45 名 (うち障がい者 19 名)

部 門	優 勝	準 優 勝
全盲の部 (男子)	山下 美智雄 (宮崎県)	富川 健二 (宮崎県)
全盲の部 (女子)	藤田 泰子 (山口県)	豊武 敦子 (大分県)
弱視の部	小園 文子 (宮崎県)	浜松 美津子 (大分県)
弱視の部 特別賞	小園 勇 (宮崎県)	

(4) 第15回あすぴあおおいたフライングディスク大会

期 日 令和元年 11 月 24 日 (日) 10:00~13:00

参 加 者 61 名 (うち障がい者 34 名)

内 容 アキュラシー (的あて) で、20 回投げ、通過したディスクの数で競う。

※ 的までの距離を、1~10 投は 5 m、11~20 投は 7 m で実施

優 勝	準 優 勝	第 三 位
長 孝至 (太陽の家)	持田 朗 (太陽の家)	梅田 昇 (第一博愛寮)
第 四 位	第 五 位	第 六 位
木部 毅 (別府市)	糸永 勝一 (別府市)	広瀬 正男 (大分市)

(5) 第34回大分県社会福祉協議会会長杯卓球大会

期 日 令和元年12月8日(日)

参 加 者 180名(うち障がい者 46名)

※ 会長杯の部、交歓の部それぞれで男子、女子の部門に分けて実施

部 門	優 勝	準 優 勝	第三位
会長杯の部 [男 子]	穴見 樹 (豊後大野市) フォースリーブス	児玉 悠宇 (大分市) 滝尾中学校	小野 洸太 (大分市) 桃園クラブ
会長杯の部 [女 子]	小田 未央 (大分市) フォースリーブス	楠野 いろは (大分市) 上野丘中学	山中 智子 (佐伯市) NEXT
交歓の部 [男 子]	柴尾 承太郎 (大分市) 桃園クラブ	近藤 武文 (山口県)	井上 昌治 (大分市) NEXT
交歓の部 [女 子]	渡部 悦子 (大分市) NEXT	橋口 まゆみ (大分市) NEXT	上原 詩織 (大分市) フォースリーブス

(6) 第6回あすぴあおおいたスポーツ吹矢大会

期 日 令和2年2月2日(日)

参 加 者 44名(障がい者 16名)

内 容 6m先にある的に向けて、吹き矢を放ち、どれだけ多くの点を取るかで競う。

優 勝	準 優 勝	第 三 位
神園 蓮 (大分市)	三苫 良二 (大分市)	半沢 千秀 (大分市)

4 趣味・文化行事大会の開催

(1) 夢物語作品展

期 日 令和元年10月27日(日)～11月30日(土)開催

内 容 教室受講生や講師の作品をセンター内展示スペース(1、2階)にて展示
(各部門の作品数)

展示内容	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
絵画・造形	5・合同作品	合同作品	15	15
書 道	15	11	8	6
絵 手 紙	9	18	53	59

(2) 第35回あすぴあおおいた囲碁交流大会

期 日 令和元年7月7日(日)

参加者 12名(うち障がい者 4名)

内 容 段位、級に応じて置き碁にて実施

種 目	優 勝	準優勝	第三位	第四位
A クラス	清水 幸雄 (大分市)	小島 十二 (大分市)	佐藤 住次郎 (大分市)	鍬田 文生 (大分市)
B クラス	佐藤 ヨシ子 (大分市)	原田 耕一 (大分市)	高倉 強 (大分市)	黒田 信廣 (大分市)

(3) 第35回あすぴあおおいた将棋大会

期 日 令和元年8月4日(日)

参加者 38名(うち障がい者 23名)

実施方法 A(有段者)、B(1～5級)、C(初心者等)のレベル別に分かれ対戦

種 目	優 勝	準優勝	第三位
A クラス	村尾 猛(大分市)	今洲 庄吉(別府市)	古城 友安(大分市)
B クラス	辛島 潤(大分市)	甲斐 哲一(由布市)	佐藤住次郎(大分市)
C クラス	篠田 一徳(大分市)	有馬 秋人(大分市)	深谷 洋二(竹田市)

(4) 第4回あすぴあおおいたオセロ交流大会

※ 令和2年3月22日(日)開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

5 ボランティアの育成

(1) センターボランティア登録者数

48名 (令和2年3月末現在)

(2) ボランティアの活動状況(延べ参加人数)

区 分	令和元年度	平成30年度
教 室	417	345
大会・行事	25	74

6 講座等の開催

(1) こころのリハビリテーション教室 (第1回)

期 日 令和元年6月9日(日) 13:30～15:00
講 師 大分メンタルヘルスネット 代表 中村 廣光 氏
内 容 「心の健康と効果的なストレス対処方について」
参 加 者 21名

(2) こころのリハビリテーション教室 (第2回)

期 日 令和元年7月14日(日) 13:30～15:00
講 師 大分メンタルヘルスネット 代表 中村 廣光 氏
内 容 「新しい生き方を開くマインドフルネス瞑想法」
参 加 者 15名

(3) こころのリハビリテーション教室 (第3回)

期 日 令和元年9月1日(日) 13:30～15:00
講 師 大分メンタルヘルスネット 宗 申也 氏
内 容 「認知行動療法のすすめ」 < Part II >
参 加 者 22名

(4) こころのリハビリテーション教室 (第4回)

期 日 令和元年11月10日(日) 13:30～15:00
講 師 大分メンタルヘルスネット 穂吉 條太郎 氏
内 容 「いかに精神的な病気に立ち向かっていくか」
参 加 者 18名

(5) こころのリハビリテーション教室 (第5回)

期 日 令和2年1月19日(日) 13:30～15:00
講 師 大分メンタルヘルスネット 小野 規子 氏
内 容 「健やかな毎日を過ごすための人間関係のワーク」
参 加 者 12名

(6) こころのリハビリテーション教室 (第6回)

※ 令和2年3月8日(日)に 大分メンタルヘルスネットの佐藤 晋治 氏を
講師として、「あなたも私も大切にしたい～人間関係スキルアップ講座～」を
開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

7 障がい者福祉関係機関、団体等への支援協力

(1) 第34回障害者による書道・写真全国コンテスト

主 催 (公財) 日本リハビリテーション協会
実施機関 全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)
募集期間 令和元年8月20日(火)～9月27日(金)

内 容	○書道の部	3点出展
	○写真の部	2点出展
	○携帯の部	1点出展

* 審査結果 写真の部 木本 敬一 氏 「どうやって運ぶの」 銀賞

8 センター利用調整会議

(1) 第1回(令和元年度下半期施設利用調整会議)

日 時	令和元年7月21日(日) 13:30~14:00
団 体 数	21団体 23名
内 容	各施設の利用について、センターへの意見・要望等 ①「あすぴあ倶楽部」への参加要件等について ②駐車スペースが不足する場合の対応について ③体育室で野球の練習等を行う是非について

(2) 第2回(令和2年度上半期施設利用調整会議)

日 時	令和2年2月29日(土) 13:30~14:30 (予定)
団 体 数	対象88団体 手話通訳2名
内 容	各施設の利用について、センターへの意見・要望等 ①新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた当面の対応について

9 運営委員会

日 時	令和2年2月25日(火) 13:30~15:00
内 容	① 令和元年度事業報告について ② 令和2年度事業計画(案)について

10 自主事業

(1) 夏季期間の温水プール個人利用開放

期 日	令和元年7月4日(木)から8月29日(木)までの期間中の木曜日 (水曜日は水中リフレッシュ教室、金曜日は水中ウォーキング教室、土・日曜日は団体使用のため、また、火曜日は前日休館によるプール温度調整のため除外)
時 間	10:00~12:00
対 象	障がい者(児)とその介助者

(2) 冬期期間の温水プール個人利用開放

期 日	令和元年11月8日(金)から令和2年2月28日(金)までの期間中の月2回の金曜日午後13:00~15:00の間を個人利用時間として開放
時 間	13:00~15:00
対 象	一般、障がい者(児)とその介助者

(3) あすぴあフェスタ2019の開催

- ①目 的 各種イベントを通じて、あすぴあおおいた（大分県身体障害者福祉センター）を広く県民に知ってもらうとともに、障がい者と地域住民との交流、ふれあいを促進する。
- ②日 時 令和元年10月27日（日）10：00～15：00
- ③会 場 大分県総合社会福祉会館
- ④参加人数 2,213人
- ⑤参 加 料 無 料
- ⑥アンケート 114人より回答
- ⑦内 容

< 4 階 > 大ホール

- 10:00～10:30 みゅうじっくフェスタ①ご当地アイドル「C h i m o」
- 10:30～11:00 みゅうじっくフェスタ②手話ダンス「手話サークルはぐるま（夜の部）」
- 11:00～11:30 みゅうじっくフェスタ③ジャズダンス「G E N K I っず」
- 13:00～14:30 講演会（子どもを理解する力 堀内 祐子氏）
- 14:45～ お楽しみ抽選会

< 3 階 > 母子・父子福祉センター研修室

- 10:00～14:00 手話体験、要約筆記体験・視覚障がい体験・機器展示
（県聴覚障害者協会、県要約筆記サークル「陽ざしの会」、県盲人協会）

< 2 階 > 観覧席通路

- 10:00～14:00 スポーツ吹矢体験（日本スポーツウエルネス吹矢協会大分中央支部）

< 2 階 > 視聴覚室

- 10:00～14:00 まちの保健室（県看護協会）

< 2 階 > 生活訓練室（洋室）

- 10:00～14:00 おりがみ体験（おりがみ教室講師 甲斐 清子氏）

< 2 階 > 創作作業室

- 10:00～14:00 自然の材料工作（N P O 法人グリーンインストラクターおおいた）

< 1・2 階 > 掲示板

- 10:00～15:00 夢物語作品展～教室受講者の作品（絵画・造形、書道、絵手紙）の展示

< 1 階 > 体育室

- 10:00～12:00 音の出る工作（絵画・造形教室講師 梅本 弥生氏）
- 10:00～14:00 ふれあい市 各種雑貨・軽食を販売
- 10:00～14:00 絵手紙ライブ（絵手紙教室講師 原野 彰子氏）

< 1 階 > 療育訓練室

- 10:00～12:00 サウンドテーブルテニス体験（めじろんクラブ）
- 13:30～14:00 ボッチャ体験（大分ボッチャクラブ）

< 1 階 > 卓球室

- 10:00～14:00 卓球バレー体験（卓球バレー大分&コスモス）

(4) あすぴあ倶楽部の開設

- 平成30年度に開催した「共生社会啓発推進講座」の実績を基に、共生社会実現に向けての取り組みをさらに深化させるため、障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じて共に楽しむ空間を提供する「あすぴあ倶楽部」を開設した。
- 「切り絵」、「折紙」、「合唱」、「将棋」、「機織り」、「オカリナ」、「パンづくり」、「英語」、「音楽」の各倶楽部が発足し、39回の開催で延べ380名（障がい者は204名）が参加した。

倶楽部名	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
準備会	1回 44名											1回 44名
切り絵・ 折紙・合唱		1回 21名	1回 22名	1回 20名	1回 13名	1回 12名	1回 14名	1回 12名	1回 10名	1回 5名		9回 129名
将 棋					1回 18名	1回 9名	1回 7名	1回 8名	1回 6名	1回 7名		6回 55名
機織り							1回 7名	1回 4名	1回 5名	1回 5名		4回 21名
オカリナ							2回 6名	2回 7名	2回 8名	2回 9名		8回 30名
パンづくり		1回 4名						1回 10名	1回 11名	1回 7名		4回 32名
英 語		1回 2名	1回 2名					1回 2名	1回 2名	1回 2名		5回 10名
アニメ鑑賞会							1回 12名					1回 12名
音 楽										1回 47名		1回 47名
計	1回 44回	1回 21名	3回 28名	2回 22名	2回 31名	2回 21名	6回 46名	7回 43名	7回 42名	8回 82名		39回 380名

11 職員の会議、研修等への参加状況等

(1) 職員研修等

① 職場内研修

期 日 平成31年4月16日（火）

内 容 AED訓練用・ダミー救急訓練

参加者 5名

② （前期）社会福祉施設等新任職員研修

期 日 平成31年4月25日（木）

会 場 県社会福祉介護研修センター

内 容 行政説明、講義、演習

参加者 1名

- ③ 水泳プール安全管理者講習会
期 日 令和元年5月8日（水）13：30～16：30
会 場 大分県教育センター 講堂
参加者 1名
- ④ 県有建築物保全研修会
期 日 令和元年5月15日（水）10：00～12：00
会 場 県庁14階大会議室
内 容 「計画保全・12条点検・自主点検」
参加者 1名
- ⑤ 日本赤十字社救急法基礎研修
期 日 令和元年6月13日（木）
会 場 日本赤十字社大分支部3階会議室
参加者 1名
- ⑥ 第46回国際福祉機器展
期 日 令和元年9月25日（水）～27日（金）
会 場 東京ビッグサイト西・南展示ホール
参加者 1名
- ⑦ 指定管理施設の利用促進に関する研修会
期 日 令和元年11月12日（火）10：00～12：00
会 場 土地改良会館5階大会議室
内 容 「効果的なアンケート調査とその活用」
参加者 1名
- ⑧ 第179回プール衛生管理者講習会
期 日 令和2年1月23日（木）～24日（金）
会 場 福岡市（リファレンス駅東ビル 5階 会議室V-2）
参加者 1名
- ⑨ 指定管理 アンケート個別相談会
期 日 令和2年2月27日（木）9：40～10：20
会 場 県庁
内 容 「効果的なアンケート」
参加者 2名
- ⑩ 人権研修会
期 日 ①令和2年2月27日（木）15：00～16：30
②令和2年2月28日（金）10：30～12：00
会 場 視聴覚室
内 容 「ハラスメントに関する基礎知識と対策について」
参加者 5名

（2）視察

- ① 大分市立日岡小学校 特別支援学級 遠足
期 日 令和元年10月18日（金）10：00～14：00
会 場 温水プール、卓球室、生活訓練室（洋室）
参加者 15名
- ② 大分市立津留小学校 2年生見学
期 日 令和元年12月18日（水）10：00～11：40
会 場 施設見学・卓球バレー体験、サウンドテーブルテニス体験

参加者 96名

(3) 会議

① 市町村社協常務理事・事務局長会議

期 日 平成31年 4 月 23 日 (火) 13 : 30 ~

会 場 大ホール

参加者 1 名

② 大分県障害者社会参加推進協議会定期総会

期 日 令和元年 5 月 28 日 (火) 13 : 30 ~

会 場 県母子・父子福祉センター 会議室

参加者 1 名

③ 指定管理者評価部会

期 日 令和元年 9 月 6 日 (金) 11 : 00 ~ 11 : 30 (現地調査)

〃 14 : 25 ~ 15 : 00 (ヒアリング)

会 場 県庁舎 1 階 12 会議室

参加者 3 名

12 大会等への参加

(1) 第38回24時間マラソンスポーツ大会

期 日 令和元年 8 月 24 日 (土)

会 場 体育室

参加者 1 名

(2) 第19回全国障害者スポーツ大会大分県選手団結団式

期 日 令和元年 9 月 20 日 (金)

会 場 大分県庁 正庁ホール

参加者 1 名

(3) 第16回大分県身体障がい者グラウンド・ゴルフ大会

期 日 令和元年 10 月 29 日 (火) 10 : 00 ~

会 場 大分市南大分スポーツパーク (大分市)

参加者 1 名

(4) 第41回大分県障がい者・児「秋の交歓会」ふれあい広場

期 日 令和元年 10 月 26 日 (土)

会 場 大手公園 (大分市)

参加者 1 名

(5) 「おおいた障がい者アート展Vol. 1 日常のアート」「第24回ときめき作品展」合同開会式

期 日 令和2年 2 月 5 日 (水)

会 場 大分県立美術館 3 階 ホワイエ

参加者 1 名

13 施設・設備の維持管理状況

(1) 施設維持管理

① 温水プールの水質検査 ※ 各項目とも検査基準に適合

(毎日) 残留塩素、水温管理：センター職員による測定

(毎月) 委託業者(株) エスク横浜分析センター

検 査 項 目	検 査 日	
ア 水素イオン濃度 (PH値5.8～8.6)	4月5日	10月11日
イ 濁度 (2度以下)	5月9日	11月7日
ウ 有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量) (12mg/ℓ以下)	6月7日	12月9日
エ 大腸菌 (検出されないこと)	7月11日	1月14日
オ 一般細菌 (200CFU/ml以下)	7月25日	2月3日
	8月19日	3月4日

(年1回) 委託業者(株) エスク横浜分析センター

検査項目	検査日
ア 総トリハロメタン (クロロホルム等) (概ね0.2mg/ℓ以下)	7月11日
イ レジオネラ属菌 (検出されないこと)	

② 温水プール水の入替及び掃除 委託業者：(株) メンテナンス

ア 令和元年8月19日 (月) 8:00～14:00

イ 令和元年11月11日 (月) 8:00～14:00

③ 消防設備関連 委託業者：(株) メンテナンス

ア 消防設備点検 令和元年8月26日 (月)、令和2年3月13日 (金)

イ 総合防災訓練 令和2年1月10日 (金) 総合社会福祉会館敷地内

(2) 県施設整備

① うずまきポンプ交換工事 (平成31年4月)

② プール外調機Vベルト・ベアリング工事 (令和2年2月)

③ プール還風機応急修繕工事 (令和2年2月)

(3) 小修繕工事

	修 繕 内 容	修 繕 月
①	体育室入口鍵修理	5月
②	療育訓練室戸車取替工事	6月
③	2階観覧席北側避難戸車交換工事	8月
④	療育訓練室ハーモニードア修繕工事	8月
⑤	会議室机修繕	9月
⑥	観覧席入口戸交換工事	9月
⑦	1階プール更衣室戸車交換工事	9月
⑧	西側駐車場 安全ミラー設置工事	11月
⑨	温水プール室空調機Vベルト交換工事	1月
⑩	屋上ソーラーガラス管破損箇所の撤去・簡易処置等	3月

(4) 省力化の取り組み

- ① バコテンボイラーの制御タイマーによる調整
- ② 冷暖房空調機の温度管理(遠隔操作盤設置)
- ③ 各部屋空調の温度管理(温度コントローラ設置)
- ④ LED照明改修による電力省力化
- ⑤ 小便器の節水用個別センサー排水装置設置による水道の節水
- ⑥ ガス契約(ディマンド)によるガス基本料の低減
- ⑦ 水道大口契約によるガス使用料金の低減
- ⑧ 体育室換気装置設置(熱中症対策)

14 広報の状況

(1) ホームページ等による情報提供 U R L <http://www.sc-oita.net/>

- ① 行事・お知らせ等の最新情報(随時更新)
- ② 施設予約状況の案内

〈ホームページアクセス件数〉

24,481件(平成30年度:36,611件)

(2) 印刷物による広報

No.	内 容	枚 数	配 布 先
①	センター主催教室受講生募集	2,000部	各関係機関、施設、受講生
②	利用案内(プール用)	200部	利用者用
③	利用案内(体育室・卓球室)	200部	利用者用
④	年報(平成30年度版)	200部	各関係機関、施設等
⑤	あすびあフェスタ2019 ちらし	27,000部	利用登録者、地域住民、施設等
⑥	あすびあフェスタ2019 折込	12,000部	津留・舞鶴・城東地区新聞折込
⑦	あすびあフェスタ2019市報折込	8,560部	津留地区自治会10/15号市報折込

(3) テレビCM等による広報

OCN 大分ケーブルネットワークにおいて、1ヶ月間ふれあいフェスタの開催案内を放映。

15 関係機関との連携状況(NPO団体等との連携による教室・大会の開催)

(1) 各種教室実施に係る連携

- ① 親子水泳教室 [県障害者福祉水泳指導者協会]
- ② スポーツ吹矢教室 [大分県スポーツウエルネス吹矢協会大分中央支部]
- ③ 水中リフレッシュ教室・いきいきリフレッシュ教室
[NPO法人にこにこフィットネス協会]

(2) 各種大会開催に係る連携

- ① 卓球バレー大会〔大分県卓球バレー協会〕
- ② 県社協会長杯卓球大会〔大分県障害者卓球連盟〕
- ③ 秋の交歓会 卓球バレー・ふうせんバレーボール大会〔県障害者社会参加推進協議会〕
- ④ ふうせんバレーボール大会〔大分県ふうせんバレーボール協会〕
- ⑤ サウンドテーブルテニス大会〔大分県障害者卓球連盟〕
- ⑥ フライングディスク大会〔大分県フライングディスク協会〕
- ⑦ スポーツ吹矢大会〔大分県スポーツ吹矢協会大分中央支部〕
- ⑧ 24時間スポーツマラソン大会〔24時間スポーツマラソン大会実行委員会〕

16 利用者満足度調査（アンケート調査の実施）

	調査時期	対象者（人数、団体数）
第1回	1月～2月	会議室等利用団体（登録49団体）
第2回	1月～2月	スポーツ施設使用団体（登録36団体）
第3回	通年・適宜	個人の利用者（一般を含む）
第4回	教室等終了時	教室等受講者

17 主な苦情等

- (1) 車いす使用者用駐車施設について（令和元年5月）
- (2) 体育室の照明について（令和元年8月）
- (3) プールパーソナルレッスンに係る日程調整について（令和元年12月）

18 サービス改善事業

(1) 文化芸術地域支援事業

「地域で障がい者の芸術体験をしたい」その活動のヒントやアイデアがほしい障がい者支援施設・団体等に対し、書道、絵手紙、おりがみ等の創作活動に精通した講師を派遣。

No.	期 日	受講人数	内 容	講 師	派 遣 先
1	10月20日（日）	15名	タブレットで絵を描こう！！	竹林 美伽	発達支援の会じゃんぷ

(2) 介護予防支援講座等の開催

① プールパーソナルレッスン

期 間 令和元年5月～令和2年2月
講 師 稲田 亜紀（日本水泳連盟 基礎水泳指導員）
内 容 水泳の個人指導を通じて、身体機能の向上等につなげる。
開催回数 計95回 受講者数 延べ95名

② トレーニングパーソナルレッスン

期 日	令和元年12月～令和2年2月
講 師	都甲 純（大分県立病院リハビリテーション科部主任理学療法士）
内 容	機能回復訓練室の機器を使用して個別の運動能力に応じた指導を実施した。
開催回数	計6回 受講者数 延べ60名

③ いきいきリフレッシュ教室

期 日	令和元年11月～令和2年2月
講 師	岡田 理絵（NPO法人にこにこフィットネスクラブ）
内 容	ふだん動かしていない身体の一部を動かし、活性化させることなどにより、健康の維持増進の重要性を学ぶ。
開催回数	計13回 受講者数 延べ213名

④ リハビリ運動教室

期 日	令和元年5月～令和2年2月
講 師	大平 高正（ハートリハソラ・理学療法士）
内 容	毎日を健康に過ごすための生活のあり方や、大病にかからないための予防法を学ぶ。
開催回数	計10回 受講者数 延べ149名

Ⅲ 令和元年度の教室・講座等の開催

1 教室・講座等の開催

(1) スポーツ・レクリエーション教室

No.	教 室 名	内 容	期 間	回数	時 間	講師
1	親子スポーツ教室A/B	トランポリンなどを使った様々な運動で体を動かし、スポーツの楽しさを体感します。	令和元年5月～令和2年2月	各8回	13:30～15:00 15:00～16:30	山崎 陽二・木城 八都子 フィットネストレーナー
2	親子水泳教室	水に慣れることや泳ぎの基本を学び、遊泳の楽しさを体感します。	令和元年5月～11月	10	10:00～11:30	藤本 正広 県障がい者水泳指導者協会
3	卓球/バレー教室	6人1チームで卓球台を囲み、障がいの程度に関係なく楽しむことのできる競技です。	令和元年5月～令和2年2月	11	10:00～11:30	佐藤 貞子 県卓球/バレー協会公認指導員
4	ミニテニス教室	やわらかいスポンジボールを使ったミニテニス！テニスを楽しみたい方に最適な教室です。	令和元年5月～令和2年2月	9	10:00～12:00	福島 文男 太陽の家車いすテニスクラブSpash代表
5	スポーツウエルネス吹矢教室	腹式呼吸を応用した「スポーツ吹矢式呼吸」で健康増進を図り、的を狙う楽しさを体感できます。	令和元年5月～令和2年2月	9	10:00～11:30	大西 實 県スポーツウエルネス吹矢協会
6	ボッチャ教室	パラリンピックの公式種目で「床の上のカーリング」とも呼ばれています。	令和元年5月～令和2年2月	9	10:00～12:00	渡辺 法子 ボッチャ大分代表
7	フライングディスク教室	円盤(ディスク)を遠くに投げたり、標的の輪をめがけて投げる競技です。	令和元年5月～11月	4	10:00～11:30	大分県障害者フライングディスク協会 指導者

(2) 趣味・文化 教室

No.	教 室 名	内 容	期 間	回数	時 間	講師
8	料理教室A(土曜)/B(日曜)	地元の旬の食材を使った料理を作り、楽しい時間を過ごします。	令和元年5月～令和2年2月	各10回	10:00～13:00	城井 久美子 食生活改善推進員
9	絵画・造形教室	絵画をはじめとした芸術にふれ、絵を描くことや工作することの楽しさを学べます。	令和元年5月～令和2年2月	9	13:30～15:30	梅本 弥生 梅本美術研究所代表
10	実用書道教室	日常的に使うペン字や筆ペンを使った熨斗書きの他、毛筆や硬筆を楽しむことができます。	令和元年5月～令和2年2月	9	13:30～15:30	河野 悦子 県美術協会会員
11	絵手紙教室	四季の野菜・果物・花などを題材にし、絵手紙を作成します。	令和元年5月～令和2年2月	10	10:00～12:00	原野 彰子 絵手紙協会認定講師
12	パソコンアドバイス教室	ワードやエクセルの実用的な機能を中心に学びます。	令和元年5月～令和2年2月	10	13:30～15:30	佐藤 清一 ろう字/アミらの会代表
13	おりがみ教室	おりがみで季節を感じる作品を作り、手先と頭を活性化し、楽しい時間を過ごします。	令和元年5月～令和2年2月	10	10:00～13:00	甲斐 清子 日本折紙学会指導員

(3) 機能訓練 教室

No.	教 室 名	内 容	期 間	回数	時 間	講師
14	水中ウォーキング教室	温水プールで歩くことの楽しさを体感し、リハビリにつなげます。	令和元年5月～10月	15	10:30～12:00	木城八都子 フィットネストレーナー
15	水中リフレッシュ教室	入水前の体操や温水プール内では、普段使わない身体を意識して使い、身体機能を高めます。	令和元年5月～10月	13	10:30～11:30	岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネスクラブ
16	いきいきリフレッシュ教室	日常生活でも取り組める簡単な運動を学んでいきます	令和元年11月～令和2年2月	13	10:30～11:30	岡田 理絵 NPO法人にこにこフィットネスクラブ
17	リハビリ運動教室	健康に毎日過ごすための生活の見直し、大病にかからないための予防方法を学びます。	令和元年5月～令和2年2月	10	10:00～11:00	大平 高正 ハードリハ/ソラ・PT
18	こころのリハビリテーション教室	健やかな毎日過ごすために、心とからだを整えるいくつかの療法について学びます。	令和元年5月～令和2年2月	5	13:30～15:00	中村 廣光 他 大分メンタルヘルスネット代表

(4) 自主事業

No.	教 室 名	内 容	期 間	回数	時 間	講師
19	水泳/パーソナルレッスン	温水プールでの遊泳の楽しさを体感し、リハビリにつなげます。	令和元年5月～令和2年2月	95	10:30～12:00	福田 亜紀 日本水泳連盟基礎水泳指導員
20	トレーニング/パーソナルレッスン	様々な運動や測定などをしながら、健康増進を図り、介護予防に繋げる方法を学びます。	令和元年5月～令和2年2月	6	10:30～12:00	都甲 純 県立病院主任理学療法士

(5) あすびあ倶楽部

No.	教 室 名	内 容	期 間	回数	時 間	備考
21	あすびあ倶楽部(準備会)	障がいのある人もない人も趣味や娯楽等を通じて共に楽しむ場として開設	令和元年5月	1	13:30～15:00	
22	あすびあ倶楽部(切り絵・折紙・合唱)		令和元年6月～令和2年2月	9	13:30～15:00	
23	あすびあ倶楽部(将棋)		令和元年9月～令和2年2月	6	13:30～15:00	
24	あすびあ倶楽部(機織り)		令和元年11月～令和2年2月	4	13:30～15:00	
25	あすびあ倶楽部(オカリナ)		令和元年11月～令和2年2月	8	13:30～15:00	
26	あすびあ倶楽部(パンづくり)		令和元年7月、 令和元年12月～令和2年2月	4	13:30～15:00	
27	あすびあ倶楽部(英語)		令和元年7月～8月、 令和元年12月～令和2年2月	5	13:30～15:00	
28	あすびあ倶楽部(アニメ鑑賞会)		令和元年11月	1	13:30～15:00	
29	あすびあ倶楽部(アニメ鑑賞会)		令和元年11月	1	13:30～15:00	

2 教室別参加人数内訳

(1) スポーツ・レクリエーション教室

教室・講座・大会名	回数	受 講 者 ・ 参 加 者 内 訳												合 計
		障がい者								介護	ボラン ティア	福祉	その他 一 般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計						
親子スポーツ教室	8	7	0	0	36	0	7	50	33	0	17	0	100	
親子スポーツ教室	8	0	0	0	97	0	0	97	32	0	17	0	146	
親子水泳教室	10	10	0	0	45	0	20	75	105	30	28	0	238	
卓球バレー教室	11	20	0	0	68	0	1	89	65	13	12	0	179	
スポーツウエルネス吹矢教室	9	23	0	3	54	1	6	87	9	15	26	23	160	
ミニテニス教室	9	25	0	0	74	0	9	108	31	7	20	3	169	
ボッチャ教室	9	37	0	0	64	0	9	110	30	7	14	1	162	
フライングディスク教室	4	9	0	0	18	0	0	27	6	1	11	0	45	
計(a)	68	131	0	3	456	1	52	643	311	73	145	27	1,199	

(2) 趣味・文化教室

27 趣味・文化教室														
教室・講座・大会名	回数	受 講 者 ・ 参 加 者 内 訳												合 計
		障がい者								介護	ボラン ティア	福祉	その他 一 般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計						
料理教室A	10	27	14	3	70	9	8	131	31	38	20	0	220	
料理教室B	10	17	12	0	115	5	0	149	26	35	21	0	231	
絵画・造形教室	9	22	0	0	54	0	8	84	56	11	15	1	167	
書道教室	9	31	0	1	35	10	2	79	18	16	25	2	140	
絵手紙教室	10	102	0	0	60	0	9	171	33	31	34	1	270	
パソコンアドバイス教室	10	22	5	10	29	4	1	71	11	17	37	1	137	
おりがみ教室	10	28	7	7	21	4	2	69	37	42	24	1	173	
計(b)	68	249	38	21	384	32	30	754	212	190	176	6	1,338	

(3) 機能訓練教室

教室・講座・大会名	回数	受 講 者 ・ 参 加 者 内 訳												合 計
		障がい者							介護	ボラン ティア	福祉	その他 一 般		
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計						
水中ウォーキング教室	15	132	17	0	1	15	0	165	26	25	25	1	242	
水中リフレッシュ教室	13	103	1	0	7	8	0	119	20	11	24	1	175	
いきいきリフレッシュ教室	13	122	0	0	4	12	0	138	21	29	25	0	213	
リハビリ運動教室	10	48	1	0	23	7	0	79	31	18	15	6	149	
こころのリハビリテーション教室	5	1	0	5	1	3	4	14	8	7	43	15	87	
計(c)	56	406	19	5	36	45	4	515	106	90	132	23	866	

(4) 自主教室・講座等

47 自主教員 講座等														
教室・講座・大会名	回数	受 講 者 ・ 参 加 者 内 訳												合 計
		障がい者								介護	ボランティア	福祉	その他 一 般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計						
水泳パーソナルレッスン	95	13	0	5	42	11	24	95	54	9	83	0	241	
トレーニングパーソナルレッスン	6	44	1	0	2	13	0	60	2	10	12	1	85	
あすびあ倶楽部	38	34	6	6	52	40	41	179	41	40	41	35	336	
あすびあ倶楽部準備会	1	6	1	1	8	1	8	25	5	6	7	1	44	
計 (d)	140	97	8	12	104	65	73	359	102	65	143	37	706	

(5) 大会等

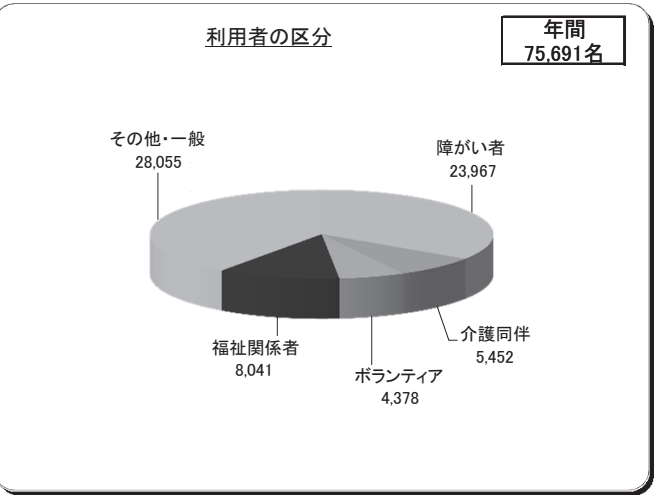
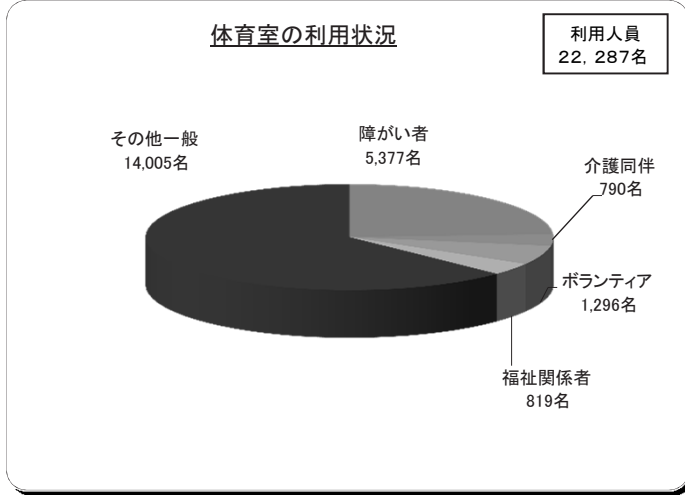
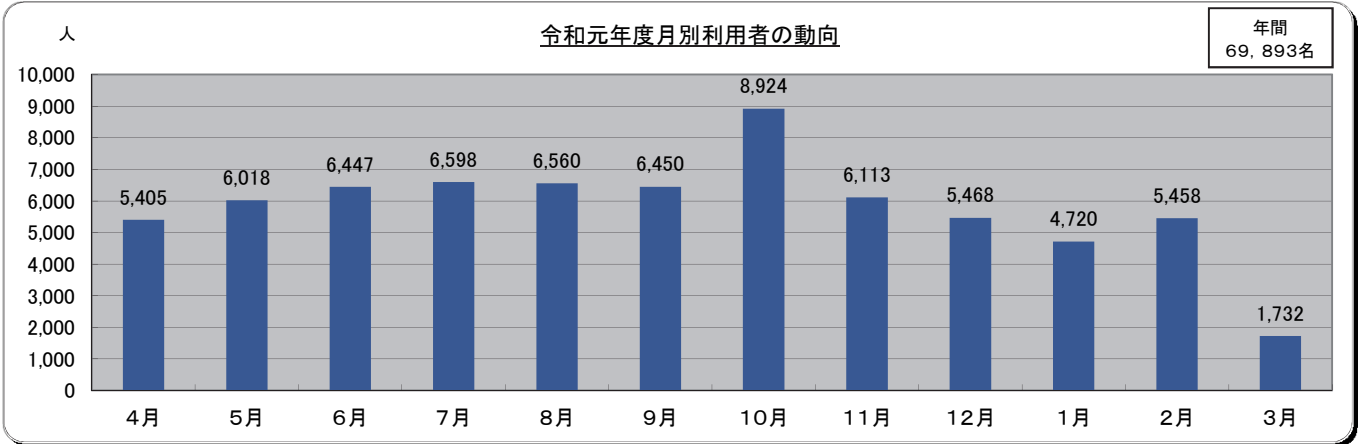
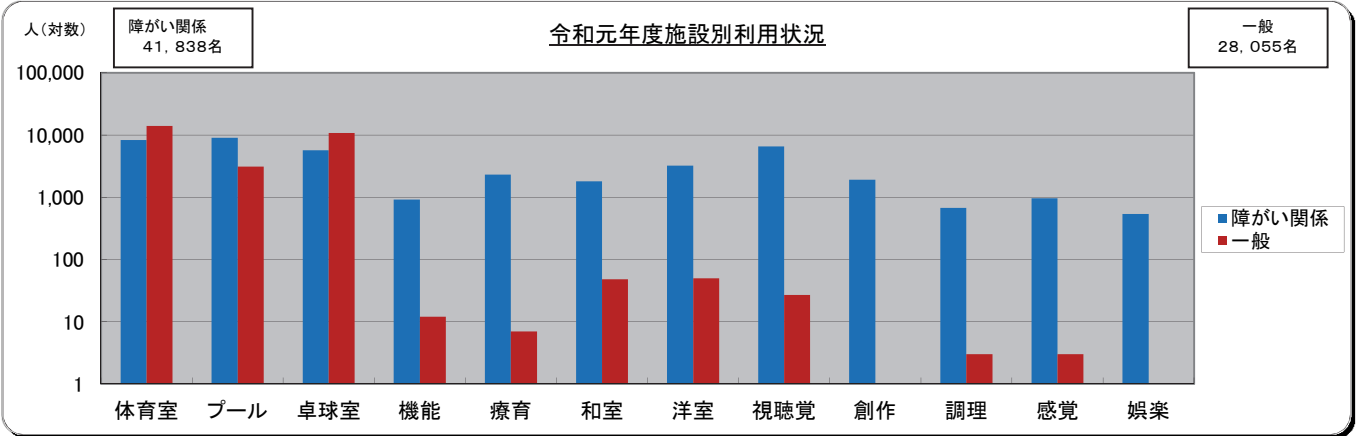
教室・講座・大会名	回数	受 講 者 ・ 参 加 者 内 訳												合 計
		障がい者								介護	ボラン ティア	福祉	その他 一 般	
		肢体	視覚	聴言	知的	内部	精神	小計						
ふうせんバレーボール大会(第25回)	1	21	7	0	28	9	2	67	47	7	30	0	151	
囲碁大会(第35回)	1	2	0	2	0	0	0	4	0	0	3	5	12	
将棋大会(第35回)	1	10	1	0	1	1	10	23	5	1	4	5	38	
卓球バレー大会(第17回)	1	47	1	0	5	0	1	54	23	5	10	1	93	
サウンドテーブルテニス大会(第34回)	1	0	19	0	0	0	0	19	7	5	14	0	45	
フライングディスク大会(第15回)	1	8	3	1	22	0	0	34	10	2	15	0	61	
県社協会会長杯卓球大会(第34回)	1	23	0	2	16	0	5	46	15	4	20	95	180	
オセロ大会(第3回)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
スポーツ吹矢大会(第6回)	1	4	0	2	10	0	0	16	10	1	17	0	44	
計(e)	8	115	31	7	82	10	18	263	117	25	113	106	624	

教室・講座等 総計(a～e)	340	998	96	48	1,062	153	177	2,534	848	443	709	199	4,733
----------------	-----	-----	----	----	-------	-----	-----	-------	-----	-----	-----	-----	-------

Ⅳ 令和元年度 施設別・障がい別利用状況表

単位:人

	団 体 利 用					個 人 利 用										合計
	障がい者	介護 同伴	ボラン ティア	福祉 関係者	その他 一般	肢体	視覚	聴、言	知的	内部	精神	介護 同伴	ボラン ティア	福祉関 係者	その他 一般	
体 育 室	5,377	790	1,296	819	14,005											22,287
温 水 プ ー ル	3,756	1,832	82	487	1,072	1,101	109	50	445	200	63	698	177	0	2,020	12,092
卓 球 室	213	17	22	164	10	3,807	6	750	201	303	219	11	0	0	10,797	16,520
機能回復訓練室	0	0	0	0	0	574	11	45	22	155	37	40	28	0	12	924
療 育 訓 練 室	1,181	383	482	256	7											2,309
生活訓練室(和)	670	256	365	512	48											1,851
生活訓練室(洋)	1,246	303	403	1,267	50											3,269
視 聴 覚 室	1,562	571	742	3,650	27											6,552
創 作 作 業 室	887	113	451	456	1											1,908
調 理 実 習 室	369	84	118	104	3											678
感 覚 訓 練 室	305	253	176	225	3											962
娛 楽 室	303	101	36	101	0											541
合 計	15,869	4,703	4,173	8,041	15,226	5,482	126	845	668	658	319	749	205	0	12,829	69,893



社会福祉介護研修センター

令和元年度は、第3期指定管理者（平成28～令和2年度）4年目として、「2019大分県社会福祉介護研修センター研修体系」に基づき、行政職員や施設職員等の育成、資質の向上を図るとともに、県民への福祉・介護に対する正しい知識と技術の普及啓発に努めた。

知識・技術習得のための階層別・職種別研修をはじめ、排泄ケア、看取りケア等ニーズの高い研修、また認知症介護実践者、障がい者の自立を支援する相談支援従事者、放課後児童支援員や介護支援専門員に対する専門研修等を実施した。

一般県民向けには、高齢化の進展に伴い、一人暮らし高齢者や認知症高齢者の増加が見込まれることから、基本的な介護技術を学ぶ「介護技術教室」、健康寿命延伸のための介護予防教室で、新たに「排泄教室」を実施し、認知症予防につながる「笑いヨガ体験」、「消しゴムはんこ教室」、「折り紙教室」、知識を深める「看取りを知る教室」、「介護保険を知る教室」等を開催した。

また、サービス改善提案事業である「福祉用具・介護ロボット地域普及・啓発事業」に取組み、地域のイベント等で最新の福祉用具や介護ロボットを展示し、地域住民や福祉・医療従事者に試用体験をしてもらうなど普及啓発に努めた。

その他、福祉用具アイデア作品展の実施や大分県保健医療団体協議会等と連携し健康・介護予防の体験・相談を行うなど当研修センターを地域に開放した県民参加型の「センターまつり」を開催した。

福祉・介護人材確保対策としては、福祉のしごと就職フェアの地域開催や、ハローワークでの相談会を行うほか、職員の離職防止・定着促進等を図るための「ノーリフティングケア（持ち上げない・抱え上げない・引きずらない）導入促進事業」や多様な人材の参入促進に向けた「介護入門者研修」を実施するとともに外国人介護人材の受入体制の整備を図った。

介護研修・総合相談部

【介護実習・普及センター事業】

少子高齢社会において、家庭及び地域における介護機能の強化と、県民の健康寿命を伸ばすため、認知症予防や介護予防の推進など、個人の尊厳と自立を基本にした介護の重要性がますます高まっている。

そのため介護予防の意識づけと、介護知識・技術の普及・啓発並びに認知症予防を目的とした研修を実施した。更に、福祉用具の研修・展示・相談、なかでも、介護支援及び自立支援型ロボットの啓発や効果的な活用の普及を図った。

(1) 介護研修関係

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
見学コース (一般)	県民・企業・海外他	11	316
介護入門コース (一般)	県民・企業・海外他	75	2,090
介護予防教室(1日間)	県民	18	538
介護技術教室 (8日間)	県民	3	583
認知症予防教室(1日間)	県民	19	456
認知症介護教室 (1日間)	県民	11	233
テーマ別教室 (1日間)	県民	7	170
福祉用具・介護ロボット地域普及・啓発事業(1日間)	県民	11	5,974
公開介護教室 (1日間)	県民	4	768
福祉用具・介護ロボット等研修(1日間)	介護支援専門員、福祉用具貸与事業者等	2	75
福祉用具プランナー研修(8日間)	介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、介護福祉士等	1	19
福祉用具専門相談員指定講習会 (7日間)	福祉用具専門相談員を目指す者	1	21
リフトリーダー研修 (2日間)	施設等で腰痛予防策を積極的に推進しようとする者	1	36
介護技術講師養成研修(11日間)	特別養護老人ホーム・障害者支援施設等の介護福祉士、訪問介護員等	1	13
介護技術講師継続研修(1日間)	介護技術講師	1	19
啓発及び情報提供	一般県民	パンフレット・リーフレットの配布、図書・ビデオの貸し出し	
合 計		166	11,311

(2) 介護担当職員技術研修

(回、人)

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
介護技術セミナー ストーマ保有者のケア	介護福祉士等	1	24
摂食・嚥下セミナー(5日間)	「食」に携わる医療、介護、福祉職等	1	41
排泄初級セミナー(5日間)	排泄ケアに関わっている者、または今後今後関わる者	1	26

研 修 名	対 象 者	回 数	参 加 者
摂食・嚥下セミナーおよび排泄初級セミナー合同スキルアップセミナー	① 摂食・嚥下セミナー、排泄初級セミナー受講者 ② 排泄ケアについて学びたい方	1	22
合 計		4	113

(3) 訪問介護・通所介護事業所職員養成研修関係 (回、人)

研 修 名	対 象 者	回数	参加者
介護保険事業所トップセミナー	指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における開設者、管理者等	2	105
サービス計画担当者研修 【基礎課程】(2日間) 【応用課程】(4日間)	指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における 現任のサービス計画担当者	2	112
		2	63
介護職員現任者研修 (3日間)	指定訪問介護事業所又は指定通所介護事業所における 現任の介護職員	2	86
障がい者(児)居宅介護職員養成研修(2日間)	介護保険法に基づく訪問介護員養成研修終了者で、現に従事している者、又はこれから従事する者	1	39
合 計		9	405

(4) ノーリフティングケア普及促進事業

介護現場における職員の離職防止・定着促進及び生産性の向上などを目指して、ノーリフティングケア(持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア)の普及促進を図った。

ア マネジメント研修(6月5日:128人参加)

①施設長等の意識改革、②導入に係る組織体制・職員研修、③福祉機器導入支援

イ 推進施設における実地研修(9回(7～8月):20施設参加)

①推進施設見学、②推進施設の取組、③導入検討施設の課題検討

ウ 新規取組施設における実地研修(施設毎に4回(10～2月):8施設参加)

①導入に係る目的・目標設定、②教育担当者への技術指導、③今後の取組への助言

【高齢者総合相談事業】

急速に進行する高齢社会に対応するため、高齢者やその家族が日常生活において抱える心配ごと・悩みごと、また介護の問題や福祉用具、高齢者が住みやすい住宅の改

修などの相談に応じた。また、情報の収集や提供をすることにより、高齢者及びその家族の福祉の増進に努めた。

(1) 相談事業

- ① 日常生活における心配ごと・悩みごとなどの一般相談
- ② 法律、年金、税金、医療・介護・機能回復、認知症介護、排泄ケア、住宅増改築の専門相談
- ③ 相談件数 6, 678件
 電 話 2, 394件
 来 所 4, 284件

(内訳)

(件、%)

	生活安全	法律	経済	福祉サービス	保健・医療	計
電話	785	233	57	1,048	271	2,394
来所	569	53	36	3,514	112	4,284
計	1,354	286	93	4,562	383	6,678
割合	20.3%	4.3%	1.4%	68.3%	5.7%	100.0%

(相談件数の推移)

平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
5,345件	6,237件	4,726件	5,212件	5,753件	6,678件

(2) 福祉情報の収集・提供

- ① 大分県高齢者総合相談センターホームページに研修、利用者情報を掲載
- ② 広報紙「大分県社会福祉介護研修センターだより」や新聞広告による情報提供
- ③ 相談業務担当職員に対する研修の実施 2回 177名

(3) 啓発事業

- ① 生活・介護用品アイデア作品展
 福祉専門校、福祉施設や一般から募集した介護用品について、独自の工夫等により介護者の負担の軽減を図ったアイデア作品を展示した。
 ・出品数 30点

(4) 福祉用具等の相談内容

(件、%)

項 目	件数	率	項 目	件数	率
排泄	217	6.5	被服	176	5.3
入浴	472	14.2	自助具	284	8.5
移動	781	23.5	コミュニケーション	199	6.0
移乗	437	13.1	ユニバーサルデザイン	47	1.4
ベッド、床ずれ	228	6.9	住宅改修等	487	14.6
合 計				3,328	100.0

(5) 高齢者の居住環境の改善に関する啓発

住宅改造モデル展示場のリーフレットなどによる啓発と具体的な相談対応などの活用

(6) 関係機関との連携

地域包括支援センター、在宅介護支援センター、地域総合相談支援センター、保健所、福祉事務所、市町村社協など関連機関と随時情報交換を行い、各種相談に応じた。

・相談件数：529件

総務・人材部

【福祉人材センター事業】

福祉関係の求人・求職の紹介・斡旋、情報提供、人材確保に関する実態調査や青少年の福祉の心醸成事業などを実施し、福祉人材の確保と資質の向上に努めた。

(1) 福祉人材無料職業紹介事業

- ① 情報提供 ・求人情報一覧の配布（毎月）
・求人票の掲示（福祉人材センター内）
・「福祉のお仕事」での求人情報の掲載（インターネット）
・介護研修センターホームページへの求人・求職者情報の掲載

② 月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
相談(件)	189	219	363	336	394	282	281	233	252	264	340	197	3,350
求職(名)	31	33	35	30	41	33	31	45	50	27	38	44	438
求人(件)	68	55	184	177	115	150	119	125	149	183	100	85	1,510
(名)	105	100	299	330	183	230	201	190	323	308	173	141	2,583
紹介(名)	10	3	3	1	6	4	21	8	30	3	1	16	106
就職(名)	10	2	0	2	0	5	18	6	28	3	1	11	86

(2) 福祉職場への就職説明会の実施

- ① 2019年夏 福祉のしごと就職フェアの開催
会 場：大分県社会福祉介護研修センター
期 日：令和元年8月11日（日）

参加者：341名（学生117名、一般求職者60名、職安等12名、事業所152名）

内 容：合同面談会（参加事業所：82事業所）

相談コーナー（福祉の仕事・資格取得方法など）

就職決定者数：44名

② 2020年春 大分・別府・由布地域 福祉のしごと就職フェアの開催

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

期 日：令和2年2月8日（土）

参加者：229名（学生12名、一般求職者91名、職安等7名、事業所119名）

内 容：合同面談会（参加事業所：64事業所）

相談コーナー（福祉の仕事など）

就職決定者数：11名

（3）福祉人材確保推進事業の実施

① 大分県福祉人材確保推進会議の開催

福祉、特に介護人材の確保を図るため、課題の共有化、課題解決のための協議・研究・情報交換を目的に開催した。

期 日：令和2年1月17日（金）

内 容：令和元年度の取り組み状況等について

委 員：県（高齢者福祉課、障害福祉課、雇用労働政策課）、大分労働局、大分公共職業安定所、介護労働安定センター大分支部、社会福祉法人経営者協議会、老人福祉施設協議会、老人保健施設協会、知的障害者施設協議会、身体障害児者施設協議会、介護福祉士会、智泉福祉製菓専門学校、別府溝部学園短期大学、県立大分南高校の各代表者

② 再就職支援講習会

介護現場への再就職を希望する者等を対象に介護技術や介護従事者の職業倫理、現場から求められる福祉人材についての研修を実施することを通して、就職支援を図った。

期 日：令和2年1月16日、17日、21日、23日の4日間

内 容：介護サービスの基本視点、介護現場のリーダーから、介護技術

参加者：5名（延16名）

③ 子どものための福祉講座（青少年福祉の心醸成事業）

県内の小・中・高校生を対象に車いす、アイマスク体験等福祉の入門講座を開催し、福祉を体験する機会を提供することにより福祉に対する理解と関心を深め「福祉の心」の一層の醸成を図ることを目的に実施した。

ア 介護研修センター実施分

実 施 主 体：大分県社会福祉介護研修センター

実 施 回 数：9回

参加延人数：695名

	ジュニア基礎コース		親子ふれあい スクール
	半 日 コ ー ス	1 日 コ ー ス	
対 象 者	小 ・ 中 ・ 高 校 生	小 ・ 中 ・ 高 校 生	小学生・保護者
実施場所	大分県社会福祉介護研修センター、公民館、小学校		
実施回数	小学生 5回 中学校 3回 高校生 8回 計 16回	小学生 0回 中学校 0回 高校生 0回 計 0回	1回
受講者数	小学生 303名 中学校 354名 高校生 657名 計 1314名	小学生 0名 中学校 0名 高校生 0名 計 0名	38名

イ 地域実施分

実 施 主 体：市町村社会福祉協議会

実 施 回 数： 60回

参加延人数： 3,758名

	福 祉 巡 回 教 室	親 子 ふ れ あ い 入 門 教 室
対 象 者	小 ・ 中 ・ 高 校 生	小 学 生 ・ 保 護 者 等
実施場所	5 地 域 （市町村社協）	
実施回数	小学生39回 中学生14回 高校生0回 計53回	計7回
受講者数	小学生2,315名 中学生1,018名 高校生0名 計3,333名	計425名

(実施内容)

区 分	実施日	実施団体名	参加者	実施内容
福祉巡回教室	6月7日	千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	31名 (小学生)	認知症サポーター養成講座
	6月11日	蒲江翔南中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	45名 (中学生)	車いす体験、アイマスク体験、高齢者疑似体験
	6月17日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	34名 (小学生)	高齢者疑似体験
	6月20日	千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	31名 (小学生)	高齢者疑似体験
	7月8日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	34名 (小学生)	高齢者交流会
	7月9日	鶴岡小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	90名 (小学生)	盲導犬学習
	7月22日	姫島中学校 (姫島村社会福祉協議会)	9名 (中学生)	デイサービス体験(車いす介助、食事介助他)
	7月25日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	38名 (小学生)	手話体験
	8月1日	弥生児童館 (佐伯市社会福祉協議会)	9名 (小学生)	手話体験

区 分	実施日	実施団体名	参加者	実施内容
福祉巡回教室	8月27日	日岡小学校 (大分市社会福祉協議会)	56名 (小学生)	点字体験、福祉講話、ボッチャ体験
	8月28日	鶴崎中学校 生徒会 (大分市社会福祉協議会)	67名 (中学生)	車いす体験、高齢者疑似体験、福祉講話
	8月29日	彦陽中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	27名 (中学生)	車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験
	9月 3日	植田小学校 (大分市社会福祉協議会)	81名 (小学生)	手話体験、点字体験、福祉講話
	9月 6日	碩田学園 (大分市社会福祉協議会)	133名 (小学生)	点字体験、ボッチャ体験、福祉講話
	9月10日	賀来小学校 (大分市社会福祉協議会)	112名 (小学生)	盲導犬学習、アイマスク体験、手話体験、福祉講話
	9月12日	東雲中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	12名 (中学生)	車いす体験、要約筆記体験
	9月13日	鶴谷中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	100名 (中学生)	高齢者疑似体験
	9月19日	鶴谷中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	70名 (中学生)	高齢者疑似体験
	9月20日	寒田小学校 (大分市社会福祉協議会)	113名 (小学生)	手話体験、点字体験
	9月26日	小佐井小学校 (大分市社会福祉協議会)	72名 (小学生)	アイマスク体験、車いす体験、福祉講話
	9月27日	野津原小学校 (大分市社会福祉協議会)	22名 (小学生)	点字体験、風船バレー体験、福祉講話
	9月30日	第一中学校 (津久見市社会福祉協議会)	97名 (中学生)	福祉講話、パラスポーツ体験
	10月 1日	金池小学校 (大分市社会福祉協議会)	142名 (小学生)	盲導犬学習、点字体験、手話体験
	10月 4日	下郡小学校 (大分市社会福祉協議会)	164名 (小学生)	盲導犬学習、点字体験、手話体験
	10月 9日	横瀬西小学校 (大分市社会福祉協議会)	37名 (小学生)	点字体験、手話体験
	10月10日	上人小学校 (別府市社会福祉協議会)	52名 (小学生)	福祉講話、車いす体験、
	10月10日	第一中学校 (津久見市社会福祉協議会)	12名 (中学生)	障がい学習
	10月11日	第一中学校 (津久見市社会福祉協議会)	12名 (中学生)	アイマスク体験、高齢者疑似体験
	10月11日	千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	29名 (小学生)	アイマスク体験、福祉講話
	10月15日	南立石小学校 (別府市社会福祉協議会)	58名 (小学生)	盲導犬学習、アイマスク体験

区 分	実施日	実施団体名	参加者	実施内容
福祉巡回教室	10月25日	駕野小学校 (大分市社会福祉協議会)	42名 (小学生)	車いす体験、点字体験、福祉講話
	10月25日	石垣小学校 (別府市社会福祉協議会)	88名 (小学生)	車いす体験、福祉講話
	10月28日	千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	29名 (小学生)	障がい学習
	10月29日	大道小学校 (大分市社会福祉協議会)	72名 (小学生)	アイマスク体験、車いす体験
	10月31日	境川小学校 (別府市社会福祉協議会)	75名 (小学生)	盲導犬学習
	11月 1日	横瀬小学校 (大分市社会福祉協議会)	62名 (小学生)	アイマスク体験、点字体験 福祉講話
	11月 1日	石垣小学校 (別府市社会福祉協議会)	88名 (小学生)	盲導犬学習、福祉講話
	11月12日	千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	29名 (小学生)	車いす体験
	11月15日	米水津中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	12名 (中学生)	高齢者疑似体験
	11月15日	高田小学校 (大分市社会福祉協議会)	77名 (小学生)	手話体験、福祉講話
	11月19日	木立小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	12名 (小学生)	盲導犬学習
	11月19日	千怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	29名 (小学生)	絵手紙体験、福祉講話
	11月21日	山の手小学校 (別府市社会福祉協議会)	92名 (小学生)	車いす体験、福祉講話
	11月21日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	33名 (小学生)	アイマスク体験、福祉講話
	11月28日	山の手小学校 (別府市社会福祉協議会)	92名 (小学生)	アイマスク体験、福祉講話
	12月10日	緑丘小学校 (別府市社会福祉協議会)	52名 (小学生)	盲導犬学習、車いす体験
	12月13日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	33名 (小学生)	障がい学習
	12月19日	米水津小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	10名 (小学生)	手話体験
	12月20日	怒小学校 (津久見市社会福祉協議会)	29名 (小学生)	いすバスケット体験
	12月20日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	33名 (小学生)	車いすバスケット体験
	1月30日	宇目緑豊中学校 (佐伯市社会福祉協議会)	48名 (中学生)	福祉講話
	2月12日	朝日中学校 (別府市社会福祉協議会)	459名 (中学生)	人権講話

区 分	実施日	実施団体名	参加者	実施内容
福祉巡回教室	2月21日	第二中学校 (津久見市社会福祉協議会)	48名 (小学生)	福祉講話
親子ふれあい 入門教室	9月12日	青山小学校 (佐伯市社会福祉協議会)	30名 (小学生)	アイマスク体験
	10月11日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	55名 (小学生)	認知症サポーター養成講座
	11月22日	津久見小学校 (津久見市社会福祉協議会)	62名 (小学生)	手紙体験、福祉講話
	11月29日	大平山小学校 (別府市社会福祉協議会)	98名 (小学生)	盲導犬学習
	11月30日	春木川小学校 (別府市社会福祉協議会)	73名 (小学生)	車いす体験
	11月30日	春木川小学校 (別府市社会福祉協議会)	87名 (小学生)	盲導犬学習
	11月30日	姫島村青少年健全育成 村民会議	20名 (小学生)	福祉講話、車いす体験、 アイマスク体験、 高齢者疑似体験、介護実習

④ 調査・研究事業の実施

ア 福祉の職場への就労を目指す求職者の意識や希望する労働条件等を調査し、職業紹介に活かすことにより、今後の人材確保に資するため、「福祉の仕事を目指す学生の意識調査」を実施した。

イ 求職者の求職活動の参考として提供するため、「社会福祉施設ガイドブック」(令和元年度版)を作成した。

(4) 人材確保特別推進事業の実施

① 社会福祉施設等新任職員研修及び新任介護担当職員研修の開催

ア 社会福祉施設等新任職員研修

社会福祉従事者として必要な基礎知識、心得や福祉の理念及び介護技術等を習得するとともに、自己啓発を図ることを目的として実施した。

期 日：平成31年4月18日～4月25日 計4日間

会 場：大分県社会福祉介護研修センター

参加者：120名

内 容：講義・演習

イ 社会福祉施設等新任介護担当職員研修

介護業務に携わる職員の均質化を図るとともに、サービスの全体の質の向上を図ることを目的に実施した。

期 日：平成31年4月16日～令和元年5月22日 計5日間

参加者：113名

内 容：講義・演習・実技講習

② 資格取得試験準備講習会の開催

ア 社会福祉士養成講座

令和元年度（第32回）社会福祉士国家試験の受験対策として、大分県社会福祉士会の協力を得ながら受験対策講座を実施した。

期 日：令和元年9月7日～10月20日 計 11日間

及び模擬試験10月20日

参加者：講義 41名 模擬試験 91名

内 容：講義 19科目、 模擬試験

イ 介護支援専門員実務研修受講試験受験準備講習会（自主事業）

期 日：令和元年6月30日、7月7日、14日 計 3日間

及び模擬試験8月18日

参加者：講習会 26名 模擬試験 22名

内 容：講義 5科目、 模擬試験

【日田市福祉人材バンク事業】

（1）福祉人材バンク事業

- ・求職登録者への求人情報紙の配布（3ヶ月に1回）
- ・日田市社会福祉協議会のホームページに求人情報一覧を掲載（7回）
- ・求人確保のための施設訪問等実施 137回
- ・月別求職・求人・紹介・就職状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談(件)	17	13	21	23	36	16	20	18	18	22	19	13	236
求職(名)	7	1	2	21	0	3	18	0	1	15	2	1	81
求人(件)	35	26	34	44	30	29	42	25	26	46	36	41	414
(名)	63	36	62	69	40	54	70	33	37	69	50	57	640
紹介(名)	0	0	2	6	0	3	1	0	3	0	0	1	16
就職(名)	2	0	2	6	0	2	2	0	0	0	0	0	14

（2）説明会・講習会等の実施

「2019 介護職場就職支援講習会」の開催

開催日：令和2年2月8日（土） 13：00～15：30

会 場：日田市総合保健福祉センター 3階会議室

参加者：6名（一般福祉職場希望者及び学生）

内 容：講話、DVDによる就職ガイド

施設見学（大分県日田はぎの園）

（3）福祉人材確保相談事業の実施

① 企業合同 ビジネス合コン企業合同説明会

主 催：ジョブカフェおおいた

開催日：令和元年6月22日（土） 13：00～16：00

会 場：日田市総合体育館

内 容：相談コーナー設置（相談来所者 4名）

② 第23回 市民健康福祉まつり

開催日：令和元年10月13日（土） 10：00～15：00

会 場：日田市民文化会館

内 容：相談コーナー設置

（4）啓発、広報事業の実施

① 機関誌の発行

日田市社会福祉協議会と共同発行「社協だより ひた」に福祉人材情報を掲載（年3回）。約27,000部を作成し、市内全戸に配布。

② 関係市町との連携

日田市、玖珠町、九重町の広報誌に福祉人材情報を掲載。

日田市及び日田市社協ウェブサイトには福祉人材センター・バンク情報を掲載。

【福祉・介護人材確保対策事業】

福祉・介護職員等の福祉人材の確保・定着を図るため、小規模な事業所が共同して合同研修を行うことができるような事業所連携の支援事業や、福祉に関心のある者に対して職場を体験する機会を提供し、福祉職場への参入を促した。

また、ハローワーク等での相談や事業所訪問を通じて福祉・介護人材のマッチング支援を行った。

（1）複数事業所連携研修事業

複数の小規模事業所がネットワークを形成（1ユニット 5事業所以上）し、共同で合同研修等を行うことによりキャリアアップ開発等を支援し、福祉・介護人材の確保・育成を図った。

○支援したユニット

- ・豊後大野市・宇目町地域ねっと
代表事業所 わくわくデイサービス (12事業所)
- ・べっぷ認知症自主勉強会
代表事業所 ケアプランセンターたけい (6事業所)
- ・たけたん絆 PART III
代表事業所 久住デイサービスセンター (16事業所)
- ・杵築智恵袋
代表事業所 杵築中央病院リハビリテーション部 (5事業所)

(2) 職場体験事業

福祉・介護の仕事に関心のある者に対して、職場を実際に体験し、職場の雰囲気やサービス内容を直接知る機会を提供することにより、福祉・介護の仕事への関心を高め、人材の参入を促進した。

実施期間：令和元6月1日から2月29日まで

受入施設：70施設 (実数 53施設)

体験者数：89名 (実数 61名) 延べ 151日

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
延人員	2	10	34	8	12	2	15	2	4	89
延日数	5	15	51	12	26	4	27	5	6	151

*就職決定者数： 18名

(3) 介護入門者研修実施事業

会 場 大分県社会福祉介護研修センター

期 日：①令和元年6月16日、23日、7月21日、28日(4日間)

②令和元年10月27日、11月3日、17日、12月1日(4日間)

参加者：①28名 ②30名

内 容：介護未経験かつ無資格の方が、日常に役立つ介護の知識や介護職としての必要な基本的な技術の実践的な手法を学ぶ。3時間の「基礎講座」と18時間の「入門講座」 (合計21時間)

(4) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

福祉人材センターに福祉人材確保推進員3名を配置し、個々の求職者に相応しい職場を開拓するとともに、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言を実施した。

① ハローワーク等における出張相談

大分を除く6か所のハローワークで月1回(別府、日田は月2回)「福祉のしごと出張相談」を実施した。また、大分市内(ホルトホール大分:2/28～3/31まで、新型コロナウイルス感染症防止のため中止)で月2回実施した。

〈ハローワーク等出張相談実績〉

(名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累 計
相談者総数	12	12	10	9	3	10	7	2	9	2	7	4	87
ハローワーク別 府	6	5	5	2	2	6	5	1	5	0	2	4	43
日 田	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
宇 佐	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
中 津	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	6
佐 伯	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4
豊後大野	0	0	3	2	0	3	0	0	1	1	1	0	11
ホルトホール大分	4	4	0	1	0	0	2	0	3	1	2	0	17
性別													
男性	6	4	3	4	2	5	2	0	4	1	3	3	37
女性	6	8	7	5	1	5	5	2	5	1	4	1	50
福祉関係資格													
無資格者	9	8	5	4	3	5	3	1	7	1	5	4	55
有資格者	3	4	5	5	0	5	4	1	2	1	2	0	32
年齢													
10代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20代	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	0	1	10
30代	1	2	1	0	1	1	2	0	1	0	2	2	13
40代	5	4	3	2	0	4	1	1	3	0	1	1	25
50代	2	2	3	2	1	2	1	1	3	1	3	0	21
60代	3	4	2	4	0	1	2	0	1	0	1	0	18
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(「福祉関係資格」及び「年齢」には、不明の者は含まない。)

相談内容については、「求人を知りたい」が41件(26.5%)、福祉の仕事について知りたい」が51件(32.9%)、「資格の取得方法を知りたい」が36件(23.2%)、「職場体験事業について」が12件(7.7%)、「その他」が15件(9.7%)であった。

② その他の出張相談等

ア 出張相談・出張登録等

名 称	月 日	会 場	相談者数
出張登録	6月12日	智泉福祉製菓専門学校	7名
合同企業就職相談会	6月15日	竹田市総合社会福祉センター	0名
企業合同就職説明会	6月29日	アストくにさき「アグリホール」	0名
高校生向け合同企業説明会	7月6日	別府ビーコンプラザ	23名
出張相談	10月16日	智泉福祉製菓専門学校 (介護労働安定センター)	16名
出張相談	1月21日	河野文化学園	5名
出張相談	1月21日	豊の国健康ランド	13名
合同企業就職相談会	2月15日	竹田市総合社会福祉センター	0名
企業合同就職説明会	2月22日	アストくにさき「アグリホール」	0名
計(9回)			64名

③ 就職フェア等の開催

ア 日田・玖珠・九重地域福祉のしごと就職フェア

会 場：日田市民文化会館「パトリア日田」

期 日：令和元年8月25日（日）

参加者：25名

内 容：就職面接会（参加事業所：21事業所）

イ 県北地区福祉のしごと就職フェア

会 場：中津市教育福祉センター

期 日：令和元年9月28日（土）

参加者：8名

内 容：就職面接会（参加事業所：16事業所）

ウ 県南地区福祉のしごと就職フェア

会 場：三余館

期 日：令和元年10月12日（土）

参加者：6名

内 容：就職面接会（参加事業所：17事業所）

エ 速見・杵築・国東地域福祉のしごと就職フェア

会 場：日出町保健福祉センター

期 日：令和元年11月16日（土）

参加者：6名

内 容：就職面接会（参加事業所：13事業所）

オ 豊肥地区福祉のしごと就職フェア

会 場：豊後大野市総合文化センター エイトピアおおの

期 日：令和元年12月7日（土）

参加者：7名

内 容：就職面接会（参加事業所：11事業所）

※ 就職フェアによる就職決定者数 合計 8名

④ 事業所訪問

円滑な人材確保と定着促進、働きやすい職場づくりを支援するため、福祉人材確保推進員が県内の事業所を訪問し、人材確保や職員教育などについての指導、助言を行った。

⑤ 福祉の就職フェアの広報

ポスター・チラシの作成と関係諸機関への配布、新聞折り込み、「就職フェア」の広告掲載（新聞5社）

【外国人介護人材確保対策事業】

外国人介護人材の円滑な受入体制を整備するとともに、質の高い人材を安定して受け入れるスキームを確立する。

（１）外国人介護人材確保支援事業

① 外国人介護人材受入推進協議会の設置

外国人介護人材の円滑な受入れ・受入後の円滑な就労定着を図るため、行政、事業者団体、学識経験者等で構成する受入推進協議会を設置、開催した。

〈構成員〉

大分県老人福祉施設協議会、公益社団法人大分県老人保健施設協会、大分県技能実習生受入監理団体協議会（大分県中小企業団体中央会）、立命館アジア太平洋大学、行政書士、大分労働局職業安定部職業対策課、大分県商工観光労働部雇用労働政策課、大分県高齢者福祉課、大分県社会福祉協議会

〈第1回〉

日時：令和元年9月11日（水）10：00～12：00

場所：大分県庁舎別館8階86会議室

【協議内容】

- ・外国人介護人材に関する各制度の情報共有
- ・県内の介護保険事業者を対象としたニーズ調査に関する様式作成等

〈第2回〉

日時：令和元年12月13日（金）10：00～12：00

場所：大分県庁舎別館8階86会議室

【協議内容】

- ・事業の進捗状況報告
- ・留学生制度をめぐる現況と今後の取組みに関する意見交換 等

② 受入研修会の開催

県内介護施設に対し外国人介護人材受入に関する制度や先進事例紹介等の研修会及び説明会を実施した。

【説明会】

- ・ 特定技能「介護」人材を受け入れる可能性がある施設に対し、制度の概要や介護人材受入れスキーム等の大分県の取組みについて説明した。

〈第1回〉

日 時：令和元年9月25日（水）10：00～12：00

場 所：大分県社会福祉介護研修センター3階大ホール

参加者：56名

〈第2回〉

日 時：令和元年9月27日（金）10：00～12：00

場 所：大分県総合社会福祉会館4階大ホール

参加者：62名

【セミナー】

- ・ 外国人介護人材の受入制度等の総論的内容や、受入に向けた事前準備、受け入れた後の施設の変化、良かった点など、その実際を学び、大分県内の外国人介護人材の適切かつ円滑な受入れを促進することを目的にセミナーを開催した。

〈第1回〉

日 時：令和元年12月10日（火）13：00～16：00

場 所：別府国際コンベンションセンター 国際会議室

参加者：88名

内 容：

講 義

「各制度の概要とメリット・デメリット等」

社会福祉法人敬愛園 理事・福岡介護福祉専門学校長

小笠原 靖治 氏

実践報告

「受入に向けた事前準備・受入後良かった点・大変だった点・工夫していることなどについて」

特別養護老人ホーム日田園

施設長 宮崎 隆生 氏

（2）外国人介護人材入県後支援事業

① 外国人介護人材受入支援事業（集合研修等の実施）

県内介護施設就労中の技能実習生等に対し、県内4カ所において、介護技能及び日本語能力の向上を目的とした集合研修を実施した。

〈大分会場〉

日 時：第1回 令和2年1月28日（火）10：00～16：30

第2回 令和2年2月 4日（火）10：00～16：30

場 所：大分県社会福祉介護研修センター

〈佐伯会場〉

日 時：第1回 令和2年2月12日（水）10：00～16：30

第2回 令和2年2月19日（水）10：00～16：30

場 所：大分県南部振興局

内 容：

【第1回】

講義・演習 1

「介護」に対する理解と「介護の日本語」基礎編

講義・演習 2

「コミュニケーションスキルの基礎」

講師：国際厚生事業団 日本語指導専門家 武内博子氏 他

【第2回】

介護技術演習 1

「高齢者疑似体験」

介護技術演習 2

「着替えの介助」

講師：大分県社会福祉介護研修センター介護技術講師

② 受入支援アドバイザーの派遣

上記集合研修等に参加した又は参加予定の外国人の受入施設を訪問し、研修内容の確認、補足等を実施し、スキルの更なる向上を支援するとともに、受入に関する課題の収集を行うことで、県内の外国人介護人材受入れ環境向上につなげる。

(3) ベトナムにおける外国人介護人材養成事業

現地機関と連携し、ベトナム国内における介護人材養成コース（大分県コース）の令和2年6月開校に向けた準備として、県内介護施設と連携し、大分県コースを担当する講師の養成を行った。

【受入人数】

ベトナム人女性3名

【実施期間】

令和元年10月21日～令和2年1月15日

【受入体制】

①生活支援・日本文化体験の実施

担当：ケアハウス豊友館

内容：宿所（アパート）の提供、生活支援備品の調達・生活準備、ケアハウス豊友館での研修受入、日々の生活支援（買い物の仕方や交通ルールなどの指導・雨天時の送迎・緊急時の対応・ゴミの収集等の生活面でのフォロー）、日本文化体験や大分県の魅力を体験するためのレクリエーションの企画、実施（華道の指導、もみじ狩り、浴衣・着物の着付け等）

②施設研修

担当： 1 1 月 特別養護老人ホーム若葉苑
1 2 月～1 月 特別養護老人ホーム創生の里
内容： 1 1 月 ノーリフティングケアをはじめ、施設職員として必要なスキル・知識等を指導した。
1 2 月～1 月 ユニットケアを通した利用者主体の支援のあり方をはじめ、施設職員としての必要なスキル、知識等を指導した。

③座学・実技研修：大分県社会福祉介護研修センター

講師：大分県社会福祉介護研修センター介護技術講師
大分大学福祉健康科学部 廣野俊輔講師
看護師 乙部公香氏 等

【福利厚生センター事業】

福祉・介護人材確保対策の一環として、民間社会福祉従事者等の福利厚生を充実することを目的に、平成6年度に設置された社会福祉法人福利厚生センターが運営する「ソウェルクラブ」への加入促進を図るとともに、県内会員を対象とした会員交流事業などを実施した。

(1) 会員の加入促進

- ① 加入勧奨事業
 - ・福祉施設への戸別訪問
- ② 広報活動
 - ・研修センターだよりに掲載記事を掲載
 - ・就職フェア参加事業所に資料配布、説明
- ③ 令和元年度の加入状況
 - 70 法人 170 事業所 3, 745 名

(2) 会員の健康管理

生活習慣病予防検診費用助成 1, 286 名

(3) 会員の慶事のお祝い

- ① 永年勤続記念品贈呈 403 名
- ② 出産お祝品贈呈 87 名
- ③ 資格取得記念品贈呈 65 名
- ④ 結婚お祝品贈呈 60 名
- ⑤ 入学お祝品贈呈 223 名

(4) 会員のリフレッシュ

クラブサークル活動助成 2, 040 名

(5) 会員交流事業等の実施

① レジャー施設等利用補助券（１，０００円相当）の発券

発券枚数：１，５００枚 利用実績：１，０５２枚

指定施設：九州自然動物公園アフリカンサファリ、スギノイパレス、ラクテンチ、豊の国健康ランド、城島高原パーク、ハーモニーランド、うみたまご、くじゅう花公園、CITY SPA てんくう、元気の森（阿蘇ファームランド）

② 映画チケット（会員負担金 ８００円／枚）の発券

発券枚数：１，２００枚 （TOHOシネマズ全国共通券）

③ 会員交流事業（２７事業）

行事名	開催日	内 容	募集	申込	参加
コンサート (9)	5月23日	「槇原敬之」コンサート	30枚	159枚	30枚
	7月 7日	「ゆず」コンサート	30枚	123枚	30枚
	7月21日	NUMBER SHOT 2019	20枚	64枚	20枚
	8月 5日	「氷川きよし」コンサート	30枚	71枚	30枚
	8月26日	「三代目 J SOUL BROTHERS」コンサート	30枚	72枚	30枚
	10月 4日	「葉加瀬太郎」コンサート	30枚	67枚	30枚
	11月 9日	「さだまさし」コンサート	30枚	95枚	30枚
	12月21日	「AAA」コンサート	20枚	77枚	20枚
	2月25日	「スキマスイッチ」コンサート	20枚	148枚	20枚
観劇・ エンターテイン メント (4)	8月 4日	劇団四季「ライオンキング」	30枚	154枚	30枚
	8月24日	劇団四季「ライオンキング」	20枚	164枚	20枚
	8月24日	ディズニー・オン・アイス	30枚	109枚	30枚
	12月 8日	劇団四季「エビータ」	30枚	110枚	30枚
スポーツ (6)	6月 1日	ソフトバンク VS 楽天	30枚	79枚	30枚
	8月10日	ソフトバンク VS 日本ハム	30枚	176枚	30枚
	8月18日	ソフトバンク VS 西武	30枚	93枚	30枚
	11月22日	大相撲十一月場所	20枚	89枚	20枚
	12月 6日	大相撲大分場所	30枚	63枚	30枚
	12月 7日	トリニータ VS セレッソ大阪	30枚	62枚	30枚
グルメ (8)	10月~12月	杉乃井ホテル「シーダ・パレス」ディナー券	50枚	165枚	50枚
	〃	レゾラントホテル大分 ランチbuffet券	200枚	666枚	200枚
	〃	ホテル日航大分オアシス利用券	120枚	223枚	200枚
	〃	木の花ガーデン食事券（各店共通）	100枚	127枚	100枚
	〃	湯布院ガーデンホテル ランチ券	100枚	192枚	100枚
	〃	韓国苑（グループ共通）食事券	150枚	770枚	150枚
	〃	寿司めいじん（各店共通）食事券	100枚	343枚	100枚
	4月~6月	韓国苑（グループ共通）食事券	100枚	620枚	100枚

【介護支援専門員実務研修受講試験】

大分県から指定試験実施機関の指定を受け、介護支援専門員実務研修受講試験を次のとおり実施した。

(1) 試験日

令和元年10月13日(日)

(2) 試験会場

大分大学 旦野原キャンパス 大分市大字旦野原700

(3) 受験申込期間

令和元年6月4日(火)～7月3日(水)

(4) 合格発表

① 発表日時

令和元年12月3日(火) 12時

② 掲示場所

- ・社会福祉介護研修センターHP、県庁HP
- ・県庁本館、県内各振興局の掲示板

(5) 受験者数等の状況

① 受験申込者数 579人

② 受験者数 511人

③ 合格者数 97人(合格率 19.0%、全国平均 18.5%)

(6) 主な業務内容

- ① 試験会場の確保
- ② 受験案内の作成、印刷
- ③ 試験概要の広報
- ④ 受験申込受付、申込書・受験整理票の整理
- ⑤ 受験資格審査、受験票発送
- ⑥ 試験対応(試験監督員への説明会、試験会場準備、警備員の確保等)
- ⑦ 採点集計業務、受験データ等チェック
- ⑧ HP、掲示板等での合格発表、本人への合否通知
- ⑨ 試験結果の本人への簡易開示

社会福祉研修部

【社会福祉従事者等研修事業】

県市町村の福祉関係行政職員、社会福祉施設及び社会福祉協議会の役職員など、社会福祉従事者の資質向上のための研修を実施し、マンパワーの育成に努めた。

(1) 行政職員研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
新任職員研修	着任後 1 年未満の職員	2 日	84 名
高齢者福祉担当職員研修	高齢者福祉担当職員	1 日	24 名
障がい福祉担当職員研修	障がい者福祉担当職員	1 日	5 名

(2) 社会福祉施設職員等研修

① 階層別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
新任職員研修	(前期)	実務経験 1 年未満の職員	2 日
	(後期)		2 日
中堅職員研修 (A コース)	各職場において、中堅職員に相当する者 (A コース、B コースの選択制)	2 日	77 名
中堅職員研修 (B コース)		2 日	75 名
指導監督職員研修	指導監督職員	2 日	83 名
施設長研修	施設長	1 日	61 名
理事 (長) 研修	法人の理事長及び理事	1 日	108 名

② 職種別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参加者
高齢者福祉施設相談職員研修	高齢者福祉施設の相談員	1 日	74 名
新任介護担当職員研修	新任介護担当職員	前期	3 日
		後期	2 日
介護職員中堅研修	介護担当職員 (3 年以上)	1 日	85 名
障がい児 (者) 施設等職員研修	直接処遇職員	2 日	34 名
事務担当職員研修	事務担当職員	2 日	45 名
給食担当職員研修	調理員	1 日	47 名
	管理栄養士・栄養士	1 日	76 名
看護担当職員研修	看護担当職員	1 日	103 名
介護支援専門員実務研修	平成 30 年度合格者等	7 日	79 名
	令和元年度合格者等	8 日	89 名
介護支援専門員専門 (更新) 研修	課程 I	6 か月以上	11 日
	課程 II	3 年以上	8 日 3 組
介護支援専門員更新研修	介護支援専門員証の有効期間が 1 年以内に満了する者 (実務未経験者)	11 日 2 組	223 名
介護支援専門員再研修	介護支援専門員証の有効期間が失効した者	11 日 2 組	50 名
相談支援従事者初任者研修	相談支援専門員に従事する者	6 日	242 名

研 修 名	対 象 者	日 数	参 加 者
相談支援従事者現任研修	相談支援専門員の現任者	3 日	68 名

③ 課題別研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参 加 者
放課後児童支援員認定資格研修	放課後児童支援員	4 日 2 組	234 名
認知症介護基礎研修	介護保険施設等の介護職員	1 日	63 名
認知症介護実践者研修	介護保険施設等の実務者、グループホームの計画策定担当者就任予定者等	7 日 2 組	172 名
認知症介護実践リーダー研修	介護保険施設等の実務者	10 日	41 名
認知症対応型サービス事業開設者研修	開設者、代表者、役員	1 日	4 名

研 修 名	対 象 者	日 数	参 加 者
認知症対応型サービス事業管理者研修	管理者の就任予定者	3 日	79 名
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	計画作成担当者、就任予定者	2 日	21 名
〈介護支援専門員実践力向上研修〉	介護支援専門員	1 日	39 名
〈キャリアパス制度構築・運用研修〉	社会福祉施設、社会福祉協議会等の経営者、人事担当者等	1 日	新型コロナウイルスのため中止

(3) 地域福祉活動従事者研修

① 社会福祉協議会職員研修

研 修 名	対 象 者	日 数	参 加 者
業務担当職員研修	福祉活動専門員等	1 日	中止
事務担当職員研修	事務担当職員	1 日	14 名
監事研修	監事	1 日	8 名

令和元年度大分県福祉サービス運営適正化委員会事業報告

大分県福祉サービス運営適正化委員会は、運営監視合議体と苦情解決合議体の２つの委員会により、日常生活自立支援事業の監視を通じ、同事業の適正な推進と利用者等からの苦情の適正な解決を図ることに努めた。

１ 福祉サービス利用援助事業の監視

大分県社会福祉協議会から契約締結審査会や市町村社会福祉協議会の現物調査等日常生活自立支援事業の実施状況について報告を受け、本事業全般の監視を行った。

（１）運営監視合議体の開催

運営監視合議体を開催し、福祉サービス利用援助事業実施状況についての報告を受け、事業内容や個別ケースについて必要に応じて助言を行う。

※令和元年度は開催無し。

（２）福祉サービス利用援助事業に係る現物調査

日常生活自立支援事業担当者とともに福祉サービス利用援助事業を行う社会福祉協議会を訪問し、現地にて調査を実施し、日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービス等関係書類の確認を行った。

（全調査者数：219 件）

対象期間	対象社協名	調査日	調査件数
平成 31 年 4 月 ～令和 2 年 3 月	九重町	11 月 19 日(火)	1 5
	由布市	11 月 19 日(火)	7
	日田市	11 月 21 日(木)	2 2
	中津市	11 月 21 日(木)	1 9
	玖珠町	12 月 5 日(木)	1 1
	竹田市	12 月 9 日(月)	1 6
	豊後大野市	12 月 9 日(月)	1 5
	豊後高田市	12 月 11 日(水)	1 5
	姫島村	12 月 11 日(水)	1
	佐伯市	12 月 23 日(月)	1 7
	津久見市	12 月 23 日(月)	4
	日出町	12 月 24 日(火)	7
	別府市	12 月 25 日(水)	1 0
	国東市	1 月 8 日(水)	1 3
	杵築市	1 月 8 日(水)	9
	臼杵市	1 月 9 日(木)	1 0
	大分市	1 月 9 日(木)	1 2
	宇佐市	1 月 10 日(金)	1 6

2 福祉サービスに関する苦情の解決

福祉サービス利用者本人や家族などからの苦情や相談に対し、助言や関係機関につなぐなどの対応をした。また、福祉サービス提供事業所における苦情解決体制整備を促進するため、事業所を対象とする研修会を開催するとともに、直接事業所を訪問し体制整備の促進を図った。

(1) 苦情解決合議体の開催

審議案件無しのため、開催無し。

(2) 福祉サービスに関する苦情解決セミナーの開催

事業所段階での苦情解決が円滑に図られるように、社会福祉施設の苦情解決責任者や苦情受付担当者及び第三者委員を対象としたセミナーを開催し、苦情を福祉サービスの質の向上へどうつなげるのか等について研修し、以て現場における良質なサービス提供のための体制整備を促した。

開催年月日	内 容
令和元年11月28日 14:00～16:00	参加者：200名 内容：「苦情を活かした福祉サービス－苦情の構造を理解する－」 講師：西南学院大学人間科学部社会福祉学科 教授 倉田康路 氏

(3) 会議・研修への参加

開催年月日	会議および研修会名	主催団体
令和元年6月27日	令和元年度九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議	熊本県福祉サービス運営適正化委員会
令和元年7月30日	2019年度運営適正化委員会事業研究協議会	全国社会福祉協議会
令和元年10月30 ～31日	2019年度 運営適正化委員会相談員研修会	全国社会福祉協議会

(4) 福祉サービス提供事業者等に対する巡回指導

施設からの相談等により、事業所を訪問し体制整備の促進を図るとともに適正な運営の支援を行った。

実施期間	種 別	件 数
平成31年4月～ 令和2年3月	高齢者施設等	2
	母子生活支援施設	2
	救護施設	1
	計	5

(5) 広報・啓発等

各種研修等において制度の説明を行うとともにパンフレット等配付し、広く制度の周知を図った。

作成・配付物	主な配付先
パンフレット ポスター	大分県介護研修センター介護教室、介護支援専門員実務研修、地域包括支援センター研修会、民生委員児童委員研修会、権利擁護・成年後見セミナー等
ホームページ	一般県民等

3 苦情等の受付及び対応等

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(1) 受付件数(月別、受付方法別)

- ・受付方法は電話が最も多い。

※「一般」には、問い合わせ・相談等、苦情に至らなかった件数を記入。

		受 付 方 法						計		備 考
		来所		電話		書面				
		苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	
H31年	4 月			2	2	1		3	2	
R1年	5 月			1				1		
	6 月			3	1			3	1	
	7 月	1		4	2	1		6	2	
	8 月			3	2			3	2	
	9 月			1				1		
	1 0 月			3	4			3	4	
	1 1 月			1	3			1	3	
	1 2 月				1				1	
R2年	1 月			4	1			4	1	
	2 月			3	6			3	6	
	3 月			1	2			1	2	
合 計		1		26	24	2		29	24	

(2) 令和元年度種別・申出人の属性

- 申出人のその他、代理人は友人・知人である。
- 障がい分野から苦情や相談が多い。申出人は利用者本人と家族の割合が多い。
- その他分野の苦情には、病院、社協や生活保護に関するものが含まれる。
- 一般相談は、制度に関する質問などがある。

申出人 分野	利用者(本人)		家族		代理人		職員		その他		合 計		備 考
	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般	苦情	その他	
高齢者	1	1	4	5					1	2	6	8	
障がい	11	4	8	4					1	1	20	9	
児 童				1						1		2	
その他	1	4	1	1					1		3	5	
合 計	13	9	13	11					3	4	29	24	

(3) 種別並びに苦情内容の区分

- 苦情の内容としては、①サービス内容（職員の接遇）に関する内容が多かった。
- あっせんや通知に至るまでの苦情解決対応は無かった。

苦情の相手先	区 分	受 付	苦 情 苦情解決の結果						一 般 相 談
			①	②	③	④	⑤	⑥	
			相 談 助 言	紹 介 伝 達	あ っ せ ん	通 知	そ の 他	継 続 中	
合 計	①サービス内容（職員の接遇）	16	8	7	0	0	0	0	1
	②サービス内容（サービスの質や量）	3	2	1	0	0	0	0	0
	③利用料	4	0	0	0	0	0	0	4
	④説明・情報提供の不足	1	0	0	0	0	0	0	1
	⑤被害・損害	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑥権利侵害	2	2	0	0	0	0	0	0
	⑦その他	27	8	1	0	0	0	0	18
	合 計	53	20	9	0	0	0	0	24

(内訳)

高 齢 者	①サービス内容（職員の接遇）	4	1	3					
	②サービス内容（サービスの質や量）	0							
	③利用料	3							3
	④説明・情報提供の不足	1							1
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	1	1						
	⑦その他	6	1						5
障 が い	①サービス内容（職員の接遇）	9	5	4					
	②サービス内容（サービスの質や量）	3	2	1					
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	0							
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	1	1						
	⑦その他	14	7						7
児 童	①サービス内容（職員の接遇）	0							
	②サービス内容（サービスの質や量）	0							
	③利用料	0							
	④説明・情報提供の不足	0							
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	2							2
そ の 他	①サービス内容（職員の接遇）	3	2						1
	②サービス内容（サービスの質や量）	0							
	③利用料	1							1
	④説明・情報提供の不足	0							
	⑤被害・損害	0							
	⑥権利侵害	0							
	⑦その他	5		1					4

※1つのケースで区分が複数にまたがっているケースも、主たる区分のみを記入している。
(受付件数を、受付方法別や種別・属性別等の集計件数と合わせるため)

苦情受付件数 年次別推移

(単位：件、回)

区分／年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	合計
苦情	3	20	18	23	11	28	23	27	28	27	26	50	36	40	42	14	38	38	25	29	546
一般	17	39	74	86	72	60	33	33	36	63	42	25	17	12	10	1	4	7	11	24	666
合計	20	59	92	109	83	88	56	60	64	90	68	75	53	52	52	15	42	45	36	53	1,212
対応延回数	21	142	121	137	97	100	103	162	141	228	230	203	119	126	120	33	123	114	72	66	2,458

※昨年度と比較すると相談件数は横ばいである。平均対応時間は30分～40分。
対応延回数から見ると、月平均5～6件程度の相談を受けた。

